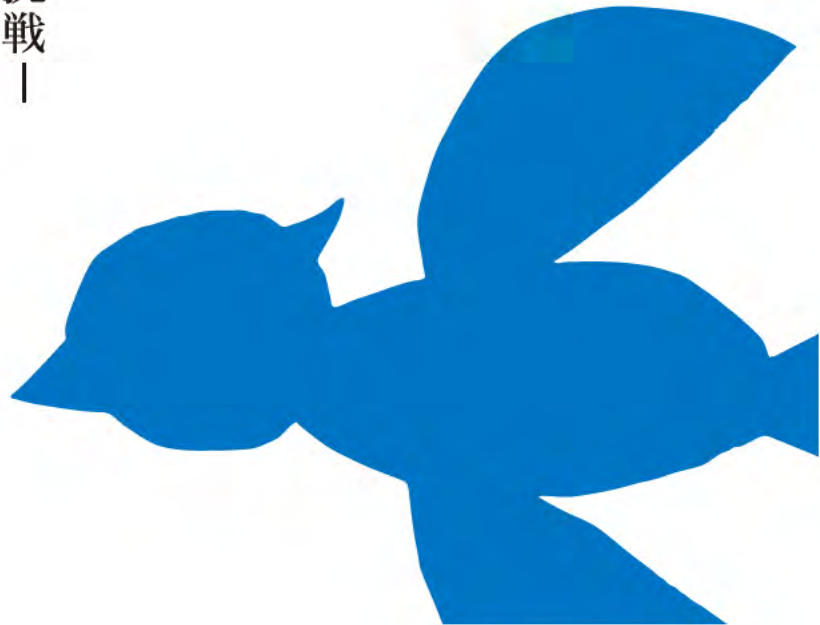


# 耕の章



草創  
— 10  
カ月の  
挑戦 —





## 大会の推進体制

### ■第1回「山の日」記念全国大会実行委員会の概要

実行委員会は、国、県、市及び地域団体等の15の機関で構成し、大会の計画・策定及び予算案の協議・承認、大会当日の実施本部の運営、広報活動等を担いました。

実行委員会の設立については、「山の日」の意義である「山に親しみ、山の恩恵に感謝する」ことへの理解を深め、広く国民に向け浸透を図っていくとともに、歴史や文化、環境、教育、観光、健康など、山に関わる様々な課題の解決に繋がっていく契機とするために、国民、又は「山」に関わるあらゆる分野の方々が連携し、世界に誇る「山の日」の制定にふさわしい、国民の皆様の記憶に残る大会の成功に向け、第1回「山の日」記念全国大会実行委員会を設立し、以下のとおり総会を開催しました。

- 1 設立総会：実行委員会の設立
- 2 第1回総会：基本計画、事業計画及び収支予算案の承認
- 3 第2回総会：実施計画、大会ロゴ及び収支補正予算案の承認
- 4 第3回総会：現地調査の実施及び実施本部体制等詳細計画の承認
- 5 第4回総会：大会実績、収支決算及び記録誌編纂の承認

### ■第1回「山の日」記念全国大会運営委員会の概要

運営委員会は、実行委員会の現地機関として、(一財)全国山の日協議会や松本自然環境事務所、松本砂防事務所、中信森林管理署、上高地町会、長野県、松本市の代表者による構成で、総会に先立ち各議案の詳細等について以下のとおり検討を重ねました。

- 1 今後のスケジュール、実施計画策定、シンボルマーク等の検討
- 2 実行体制、広報・渉外関連業務、実施計画策定の検討
- 3 実施計画素案、広報・渉外関連業務、大会行事費、関連行事の検討
- 4 実施計画案、第3回総会の検討
- 5 実績報告、記録誌編纂、決算報告、実行委員会の解散等の検討

### 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 特別職

職名	所属名	職名	氏名(敬称略)
名誉顧問	(一財)全国山の日協議会	会長	谷垣禎一
顧問	(一財)全国山の日協議会 日清食品ホールディングス(株)	副会長 代表取締役社長・CEO	安藤宏基
顧問	超党派「山の日」議員連盟 (一財)全国山の日協議会	会長 副会長	衛藤征士郎
名誉会長	長野県	知事	阿部守一

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 構成員

所属名	職名	氏名(敬称略)	役職	備考
松本市	市長	菅谷 昭	会長	
(一財)全国山の日協議会 京都大学霊長類研究所	副会長 教授	松沢 哲郎	副会長	
長野県	副知事	中島 恵理	副会長	
松本市	副市長	坪田 明男	副会長	
上高地町会	町会長	上條 敏昭	副会長	
警察庁	長官官房審議官	河合 潔	委員	H28.6.6まで
		鈴木 三男	委員	H28.8.10から
消防庁	国民保護・防災部長	横田 真二	委員	H28.6.16まで
		杉本 達治	委員	H28.6.17から
文部科学省	大臣官房審議官	徳田 正一	委員	H28.7.31まで
		神山 修	委員	H28.8.1から
スポーツ庁	審議官	木村 徹也	委員	
林野庁	森林整備部長	本郷 浩二	委員	H28.7.31まで
		織田 央	委員	H28.8.1から
国土交通省	砂防部長	西山 幸治	委員	
観光庁	観光振興部長	加藤 庸之	委員	
環境省	自然環境局長	奥主 喜美	委員	H28.6.16まで
		亀澤 玲治	委員	H28.6.17から
上高地観光旅館組合	組合長	奥原 宰	委員	
北アルプス山小屋友交会	会長	山田 直	監事	
松本市アルプス観光協会	会長	小日向 義夫	監事	

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 運営委員会委員

所属名及び職名	氏名	役職	備考
(一財)全国山の日協議会代表理事 理事長	磯野 剛太	委員長	
長野県林務部森林政策課長	小田切 昇	委員長代理	H28.3.31まで
	小山 聡	委員長代理	H28.4.1から
松本市商工観光部部長山の日記念大会推進室長	加藤 銀次郎	委員長代理	
環境省松本自然環境事務所長	藤森 貞明	委員	H28.3.31まで
	高橋 博幸	委員	H28.4.1から
林野庁中部森林管理局中信森林管理署長	中野 亨	委員	
国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所長	五十嵐 祥二	委員	
上高地町会長	上條 敏昭	委員	
松本市商工観光部山の日記念大会推進室次長	羽秋 隆哉	委員	

■開催実績

	会議名	日時	場所	議事
実行委員会	設立総会	H28.1.8(金) 午後1時から	東京都 都道府県会館 410号会議室	第1号議案 規約 第2号議案 構成員 第3号議案 特別職
	第1回総会	H28.1.8(金) 午後2時から	東京都 都道府県会館 410号会議室	第1号議案 基本計画 第2号議案 事業計画 第3号議案 収支予算 第4号議案 運営委員会の設置
	第2回総会	H28.4.28(木) 午後1時30分から	東京都 都道府県会館 410号会議室	第1号議案 実施計画 第2号議案 キャッチフレーズ及び シンボルマーク 第3号議案 補正予算
	第3回総会	H28.7.14(木) 午後1時から	松本市 上高地	現地調査
		H28.7.15(金) 午前10時から	ホテル ブエナビスタ	第1号議案 実施計画 第2号議案 大会実施体制
第4回総会	H28.12.27(火) 午後3時から	東京都 都道府県会館 410号会議室	記念講演 夢枕獏先生「山と物語」  第1号議案 実績報告 第2号議案 記録誌作成 第3号議案 決算報告 第4号議案 記録誌編纂委員会の設立 第5号議案 実行委員会の解散	
運営委員会	第1回	H28.1.29(金) 午後1時30分から	松本市 安曇支所 大会議室	1. 運営委員会の進め方 2. 今後のスケジュール 3. 実施計画の策定 4. 実施計画の策定に関する業務委託 5. 大会シンボルマークの作成 6. 大会準備状況
	第2回	H28.2.29(金) 午後2時30分から	松本市 安曇支所 大会議室	1. 実行体制 2. 広報・渉外関連業務 3. 実施計画の策定
	第3回	H28.4.15(金) 午後1時30分から	松本市 安曇支所 201会議室	1. 実施計画素案 2. 広報・渉外関連業務 3. 大会事業費素案 4. 関連行事の取りまとめ
	第4回	H28.7.1(金) 午後2時から	松本市 安曇支所 大会議室	1. 実施計画案 2. 第3回総会
	第5回	H28.12.16(金) 午後2時から	松本市波田 文化センター 第1・2会議室	1. 実績報告 2. 記録誌編纂 3. 決算報告 4. 記録誌編纂委員会の設立 5. 実行委員会の解散

# 第1回「山の日」記念全国大会 推進体制図



## 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

- 主催者、大会運営、計画策定、準備、予算管理等の責任者
- 実施本部運営主体、構成員相互の情報共有
- 広報活動の展開 等

全国「山の日」協議会	長野県	松本市	上高地町会・関係団体	国機関
名誉顧問 谷垣禎一(会長) 顧問 安藤宏基(副会長) 副会長 松沢哲郎(京大教授) 運営委員長 磯野剛太(理事長)	名誉会長 阿部守一(知事) 副会長 中島恵理(副知事) 庁内連絡会議 危機管理部、企画振興部、 県民文化部、健康福祉部、 環境部、観光部、 農政部、林務部、 建設部、教育委員会	会長 菅谷昭(市長) 副会長 坪田明男(副市長) 庁内連絡会議 (全部局(主管課等)) 事務局 山の日記念大会推進室	副会長 上條敏昭(町会長) 上高地町会 山小屋、ホテル、旅館、 民宿、食堂、売店、建設、 旅客(バス・タクシー)、 国出先機関、信大、 東京医科大 等 上高地観光旅館組合、 北アルプス山小屋友交会、 松本市アルプス観光協会	警察庁、消防庁、 文部科学省、 スポーツ庁、林野庁、 国土交通省、観光庁、 環境省(主務官庁)

### 運営委員会：計画等の立案、実行委決定項目の実行、予算執行

連携	協力	連携	協力	委託	協働	委託	協働	委託	協働	委託	協働
超党派「山の日」議員連盟 顧問 衛藤征士郎(会長)	長野県警察本部 警衛対策課	株ながのアド・ビューロ、 電通東日本、 電通テック、 信濃毎日新聞社 共同企業体(業務パートナー) 実施計画の作成 協賛営業サポート 祝祭式典運営サポート	株エーピーシー(業務パートナー) シンボルマークの作成	株ナガタビ(業務パートナー) 信州四方山祭りin松本城運営サポート	株日本広告(業務パートナー) 信州四方山祭りin上高地運営サポート	株山と溪谷社(業務パートナー) 国際フォーラム運営サポート					



設立総会  
衛藤征士郎顧問あいさつ



第1回総会  
谷垣禎一名誉顧問あいさつ



第2回総会



第2回総会  
デザイナーの小野圭介さん



上高地現地調査  
(バスターミナル)



上高地現地調査  
(河童橋周辺)



第3回総会



第4回総会  
夢枕獺さん記念講演



第4回総会



第1回運営委員会



第5回運営委員会

# 第1回「山の日」記念全国大会 基本計画

平成28年1月8日 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

## I.はじめに～「山の日」制定の経過～

「山の日」は、「国民の祝日に関する法律」(昭和23年法律第178号)に規定される16番目の国民の祝日として誕生しました。

### 【「山の日」の概要】

趣 旨:山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する。

期 日:8月11日

制 定 日:平成26年5月23日(施行日:平成28年1月1日)

平成27年5月に開催された全国「山の日」協議会総会において、第1回の記念全国大会が長野県松本市上高地で開催されることが決定され、同年10月に長野県と松本市が協力し、松本市安曇支所に「山の日記念大会推進室」が設置されました。なお、制定にあたっては、国会議員による超党派「山の日」制定議員連盟と全国「山の日」制定協議会がまさに車の両輪として御尽力いただきましたことをここに称します。

## II.推進体制

この大会の運営は、15の関係機関からなる「第1回「山の日」記念全国大会実行委員会」が行うこととし、計画の策定及び予算案の協議・承認、大会当日の実施本部の運営、広報活動等を担います。また、山に関する様々な団体及び企業等の協力を募るとともに、全国知事会等地方6団体にも後援を依頼し、国全体で「山の日」の制定を祝う機運の醸成に努めます。

### 【実行委員会の構成員】(敬称略)

- 名誉顧問 谷垣禎一(全国「山の日」協議会長、国会議員)
- 顧 問 安藤宏基(全国「山の日」協議会副会長、日清食品ホールディングス(株)代表取締役CEO)
- 顧 問 衛藤征士郎(超党派「山の日」議員連盟会長、国会議員)
- 名誉会長 阿部守一(全国「山の日」協議会顧問、長野県知事)
- 実行委員会会長 菅谷昭(松本市長)
- 〃 副会長 松沢哲郎(全国「山の日」協議会副会長、京都大学教授)、中島恵理(長野県副知事)、坪田明男(松本市副市長)、上條敏昭(上高地町会長)、
- 〃 委 員 河合潔(警察庁長官官房審議官)、横田真二(消防庁国民保護・防災部長)、徳田正一(文部科学省大臣官房審議官)、木村徹也(スポーツ庁審議官)、本郷浩二(林野庁森林整備部長)、西山幸治(国土交通省砂防部長)、加藤庸之(観光庁観光振興部長)、奥主喜美(環境省自然環境局長)、奥原宰(上高地観光旅館組合長)
- 〃 監 事 山田直(北アルプス山小屋友交会長)、小日向義夫(松本市アルプス観光協会会長)

## III.大会概要

### 1.開催意義

長野県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県であると同時に、「日本の屋根」と称される南北・中央アルプスを有し、全国に23座ある3,000m峰のうち15座※1を有する日本一の山岳県でもあります。このうち、松本市には、槍ヶ岳や穂高連峰、乗鞍岳など9座の3,000m峰があり、あわせて稜線に開けた台上を持つ美ヶ原に代表される深田久弥の日本百名山が6座あるなど、まさに日本を代表する山岳都市「岳都」です。

とりわけ上高地は、我が国の近代登山の発祥の地と言われ、英国の登山家であるウォルター・ウェストン(英国(宣教師・登山家)1861～1940)によって全国屈指の山岳景勝地として世界への扉が開かれ、また、中部山岳国立公園、国の特別名勝、特別天然記念物にも指定されており、年間約130万人の観光客が国内外から訪れています。このように、我が国の「山」の中心ともいえる場所で、世界で初めて「山」を対象とした祝日の制定を祝う行事を開催することにより山の魅力や価値と合わせて、山とともに生きていくことの大切さを山岳県信州・岳都松本から世界に向けて発信する機会としてまいります。



初夏の穂高連峰と河童橋

### 【上高地データアラカルト】

- 標高 河童橋付近:1,500m
- 山 奥穂高岳:3,190m、前穂高岳:3,090m、槍ヶ岳:3,180m、瀧沢岳:3,110m、焼岳:2,455m、西穂高岳:2,909m、明神岳:2,931m 霞沢岳:2,646m
- 平均気温 -8℃(冬季)～20℃(夏季)程度
- 野生生物 ケシウヤナギ、ハルニレ、シラビソ、ニリンソウ、ニホンライチョウ、オコジョ、ニホンカモシカなど



## 2.大会理念

わが国は国土の約7割を変化に富んだ山地が占める「山の国」です。

日本人は古くから山を崇め、森の恵みを享受し、自然とともに生きてきました。

この美しく豊かな自然を守り、次世代へ引き継ぐことを銘記するため、8月11日が国民の祝日「山の日」として制定されました。

こうしたことを踏まえ、初めての祝日「山の日」を祝う行事となる第1回「山の日」記念全国大会は、次の理念により開催します。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という「山の日」制定の目的に対する国民の関心を高め、浸透を図ることで「山と人」との関わり方を見つめ直す機会とします。

山とともに生きていくため、山に関する歴史や文化の継承、自然体験の機会の創出、環境保全、観光振興、健康増進、山岳遭難や自然災害への対応など様々な課題の解決に向けた施策の展開に繋げ、山村及び山岳地域の活性化を図る契機とします。

「山」に関わるあらゆる分野の皆様と連携し、国民の皆様とともに、世界に誇る「山の日」制定にふさわしい大会として、清流梓川の流れる上高地から、国内外へ発信し、子供たちと一緒に「山の未来」を創造して次代へ引き継ぐ第一歩の日とします。

世界で初めて「山」を対象とした祝日を制定したことから、日本人の山に対する向き合い方、考え方などについて、山岳県信州・岳都松本から国内はもとより世界に発信するとともに、「山」に関する国内外の幅広いネットワークを構築する機会とします。

## 3.大会テーマ及びシンボルマーク

長野県松本市上高地で開催することの意義や「山と人」との関わりを通じた、山の価値の向上や魅力の発信という大会理念を国民の皆様にわかりやすく伝えていくため、大会テーマ及びシンボルマークを作成します。

## 4.開催概要

### (1)開催期日

平成28年8月10日(水) レセプション

平成28年8月11日(木)祝日 記念式典及び記念行事

### (2)開催場所

長野県松本市上高地及び松本市内(荒天時:松本市内)

### (3)主 催

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

### (4)行事概要

私たちが世界に誇るべき「信州の山」の魅力や価値を最大限活かし、上高地を中心にお越しいただく皆様と国内外の多くの方々に「山の日」制定の趣旨を広く浸透を図るとともに、「山と人との関わり」を通じ、山の歴史・文化や今起きている様々な課題、そして「山の未来」のあり方について、記念式典及び記念行事等において提言していきます。

#### ① 8月10日(水) レセプション

・記念式典等にご招待する皆様を歓迎するレセプションの開催

#### ② 8月11日(木)祝日 「山の日」記念式典

・「山の日」宣言、「山」への感謝を表す行事、音楽演奏、市民参加による行事等

#### ③ 8月11日(木)祝日 他 「山の日」記念行事

・山に関わる各国大使及び関係機関等による「山」に関する国際会議の開催・山に関する音楽、映像、研究成果、取組等の様々な情報を発信

### (5)開催規模

「山の日」記念大会全体を通じて、多くの皆様の参加をめざし、国民の皆様及び国外へも広がりのある大会とします。

#### 【招待者計画】

国関係者、長野県・県内市町村関係者、山岳等「山」関係者、「山」に関わりの深い各国大使、長野県及び松本市の姉妹提携国(都市)の皆様、ご協賛・ご協力いただく企業・団体の代表者 など



東京で開催された  
「山の日」全国フォーラム



白马村で開催された  
「山の日」フォーラム



大分県九重町で開催された  
「山の日」イベント

## IV. 記念式典計画

### 1. 記念式典の概要

#### (1) 基本的な考え方

- ①日本が世界に誇るべき財産である山とその恩恵に感謝し、「山と人」との関わりを通じ、山の価値や魅力を国内外に発信していく式典とします。
- ②式典では、先人が育んできた歴史と文化を通じ、山と人が抱える課題を正面から見つめ直し、山と人の明るい未来を、次代を担う子供たちへと継承していくことを目的とします。
- ③式典は、世界で初となる「山」を対象とした祝日の制定趣旨を具現化するものとして、日本を代表する山岳景勝地である上高地会場を中心に、長野県民、松本市民をはじめより多くの方に親しみ祝っていただけるよう松本市内会場とで一体的に開催します。
- ④「山」を対象とすることを踏まえ、質素で厳粛かつ品格のあるものとします。

#### (2) 開催日

平成28年8月11日(木)祝日

#### (3) 式典会場

長野県松本市上高地及び松本市内

#### (4) 参集範囲

国関係者、県・市町村関係者、山岳関係者、一般参加者等

#### (5) 式典演出計画

##### 【上高地会場】

・「山の日」制定の趣旨を具現化し、「山と人」をテーマに歴史・文化から学び、未来へとつなげていくメッセージを国内外に発信します。

##### 【松本市内会場】

・県民、市民及び多くの方が「山の日」制定を祝い、参加者一人ひとりが「山」について考え、今から始める「山」との新しい関係構築を図る機会とします。

### 2. 式典会場整備計画

#### (1) 基本的な考え方

- ①全ての参加者が安全・快適に式典に参加できるよう配慮します。
- ②国民の祝日「山の日」制定の意義を具現化するとともに、土地の形状変更等による自然環境への負荷を最小限に抑えます。
- ③構造物は既存のものを最大限に活用し、新たな設置については関係法令を遵守し、仮設設備については必要最低限かつ県産木材などを活用したものとします。

#### (2) 式典会場の配置

上高地会場については、その自然環境を最大限活用し、上高地開催の意義を存分に感じていただける会場づくりを行うとともに、松本市内会場については、参加者が「山」を疑似体験できる会場づくりを行います。

#### (3) 中継計画

式典会場と、県内JR主要駅、銀座NAGANOなどの県外拠点を全国のケーブルテレビ等による実況中継映像で結び、全国規模で発信します。

#### (4) 装飾計画

- 式典会場の装飾は、周囲の自然環境との調和を図りつつ、招待者の円滑な導線が確保できるように設置します。
- 式典会場のメイン装飾については、上高地の流木を活用します。



参考例1：流木のオブジェ



参考例2：情報提供用案内板

## V. 記念行事計画

### 1. レセプション

#### (1) 基本的な考え方

- 式典への招待者を歓迎し、参加者の懇親を深める場とします。
- 山岳県信州・岳都松本ならではの、「山の恵み」を振る舞い、歴史と文化を実感してもらいます。

#### (2) 開催日及び会場

平成28年8月10日(水) 松本市内

#### (3) 参加者(案)

- ・各国大使、国務大臣(関係省庁)、山の日議連代表者、次期開催地関係者
- ・県選出国會議員、県・市議會議員、山岳関係団体・協賛企業関係者
- ・主催者(長野県知事及び松本市長、実行委員会関係者等)

#### (4) 演出計画

県内の「山の恵み・山の幸」をふんだんに取り入れ、一つ一つの食材に歴史と文化が感じられる演出を行います。

### 2. 「山」に関する国際的な会議の開催

#### (1) 基本的な考え方

- 2001年(平成13年)に松本市で開催された世界岳都都市会議で採択された「松本宣言」や翌年の「国際山岳年」での国際的な議論を踏まえ、我が国の「山の日」制定を記念し、世界に向けて「山の日」の意義と日本の山の魅力・価値を発信していく機会とします。
- 「山」に関わる各国大使及び我が国の「山」の関係者が集い、「山と人との関わり」を通じ、現状及び課題を議論し、「山の未来」のあり方についてメッセージを提言します。
- 会議で採択されたメッセージを「山の日」記念式典で世界に向けて発信します。

#### (2) 開催日

平成28年8月10日(水)又は11日(木)

#### (3) 参集範囲

- ・「山」に関わりのある各国大使
- ・国及び山岳関係団体関係者
- ・学識経験者及び有識者
- ・主催者

#### (4) 会議概要

- ・各国における「山」を取り巻く現状及び課題のスピーチ
- ・我が国の「山の日」制定を記念する「山の未来」メッセージの提案

### 3. 「山」に関する音楽、映像、研究成果、取組等の発信

#### (1) 基本的な考え方

- 上高地に訪れている観光客等を対象に、上高地をはじめとする信州の山の魅力を存分に楽しんでいただく行事を国機関及び関係団体等の協力により開催します。
- 上高地の自然環境を活かした演出を行います。

#### (2) 開催日時及び会場

平成28年8月10日(水)及び11日(木) 上高地及び松本市内

#### (3) 演出計画

山にちなんだ音楽祭、映画祭の開催、山岳環境等をテーマとした研究成果の発表、各国の山岳情報の発信等

## VI. 関連事業・広報計画

### (1) 関連事業の基本的な考え方

関係省庁や全国「山の日」協議会と連携し、全国各地で開催される「山の日」の制定を記念した行事の情報発信に取り組みます。

また、長野県内においては、平成28年7月15日～8月14日までの「信州 山の月間」中に県及び市町村等が行う「山」関連行事において、国民の祝日「山の日」の周知に取り組みます。

こうした取組を通じて、国全体で「山の日」制定を祝う機運の醸成を図ります。

### (2) 広報計画の基本的な考え方

「山の日」の制定趣旨や大会の開催理念等を広く周知するとともに、山岳県信州、岳都松本の景観や山岳文化等の魅力を国内外に発信します。

[専用HPの開設、政府広報、WEB広告、銀座NAGANO等での情報発信、ポスター作成、各種メディアの活用等]

## 【参 考】

### 1. 開催地の概要

山と水と緑とが、絶妙のバランスで作らあげた、類まれな景観を誇る上高地

上高地は標高3,000mの槍・穂高連峰、霞沢岳、焼岳など峻険な山々に囲まれ、中央を流れる標高約1,500mの梓川に沿って緩やかに開けた盆地状の溪谷全体を、「上高地」と呼んでいます。



### 【地形の成り立ち】

この槍・穂高連峰は、140万～80万年前の北アルプス隆起運動により、標高1,000m程度だった槍穂高カルデラが3,000mまで持ち上げられ、さらに6万年前と2万年前の氷河が岩を削り、現在の鋭角な山容を形成したものです。

さらに、上高地の盆地状の平坦地は、かつて岐阜県側を流れていた梓川が1万2千年前の焼岳の火山活動によって堰きとめられてできた湖が急峻な山稜の浸食作用から発生した大量の土砂により埋まってできたものです。現在も梓川の本川・支川で土砂の浸食・移動・堆積が続いています。

### 【近代アルピニズムの発展】

上高地は、江戸時代の修行僧・播隆による槍ヶ岳開山により明治（1867年）以降、ガウランドやウェストンによる先駆的な登山をはじめとした近代アルピニズムが発展する中で、わが国の登山史の主要な舞台となってきました。

登山の大衆化が進み、レジャーとして定着した現代においても槍・穂高連峰を核とした北アルプスは、登山者憧れの山域であり、その登山基地である上高地は、アルピニストの聖地と言えます。

- 上高地は、標高や盆地状などの特殊な環境を有しており、ケシヨウヤナギの河畔林やハルニレなどの湿性林、シラビソなどが優占する美しい亜高山帯針葉樹林、ニリンソウ群落や各種高山植物などの多様な植物社会を形成しています。また、クモマツキチョウ、オオイチモンジなどの高山蝶や鳥類、ニホンライチョウ、オコジョ、ニホンカモシカなど貴重な動植物が生息する豊かな生態系を作りあげています。
- 上高地の最大の魅力は、穂高連峰に代表される荒々しく聳え立つ岩稜、清冽な梓川などの清流、大正池・田代池、明神池などの池沼、山麓一帯に広がる森林などが織りなす類まれな山岳景観です。まさに、豪壮と繊細、厳しさと優しさが見事に調和した上高地は、どの季節でも人々を魅了し、圧倒し、心の奥深くを揺り動かします。
- かつて、木材生産や放牧の場であった上高地は、我が国屈指の山岳景勝地として1934年に中部山岳国立公園に指定され、昨年80周年を迎えました。また、特別名勝・特別天然記念物に指定(この両方に指定されているのは、上高地のほか1か所のみ)されており、その保護と活用が図られています。
- 現在、上高地は、「上高地を美しくする会」による美化清掃活動を始め、マイカー規制、登山道の維持管理など、関係者が一丸となった不断の先進的な取り組みにより、全国の国立公園のモデルとなり、また、信州を代表する山岳観光地となっています。

## 2.山の日制定の背景

日本人は古くから山々に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝しその恵みを享受して生きてきました。山の恩恵は清流を生み、わが国を囲む海へと流れ、日常生活と関わりながら人々の心をも育んできました。わが国の文化は、「山と海の文化」の融合によって、その根幹が形成されたといわれています。「山の日」は美しく豊かな自然を次世代に引き継ぐことを銘記する日として、祝日「海の日」と相まって国民が山との深い関わりを考える日とするために制定されました。

年 表	内 容
S36.7	「夏の立山大集会・登山教室」山の日制定を決議
S42.7	今上天皇陛下皇后陛下御家族の皆様が御静養を兼ねて上高地を御散策
H13.10.7～9	「2001世界岳都会議」を松本市で開催
H14.10.18～20	国際山岳年 環境省他が、「山と自然のシンポジウム」を松本市で開催
H15.12	長野県議会から国へ「海の日・山の日」制定の意見書を提出
H19.2	長野県議会山岳環境保全協議会対策議員連盟による要請
H22.4	山岳5団体による「山の日」制定協議会が発足
H23.11	長野県から林野庁に対して「山の日」制定を提案
H23.10.25	関東地方知事会で「山の日」制定について栃木県から提案、国に対し要請
H23.11.20	岳都・松本「山岳フォーラム2011」開催(山の楽しみや恩恵を周知するとともに、国民の祝日となる「山の日」制定の機運を高めることを目的)
H24.1	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議による要請
H24.5	関東甲信越1都9県議会議長会による要請(長野県議会提案)
H24.5～7	長野県知事から国に対して国民の祝日としての「山の日」制定を要請
H24.8.6	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H24.10.3	「山の日」ネットワーク東京会議に長野県、松本市も参加
H24.10.23	関東地方知事会で「山の日」制定を長野県から提案
H24.11.7	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H24.11.25	岳都・松本「山岳フォーラム2012」開催
H25.1	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議による要請
H25.4	国会議員による超党派「山の日」制定議員連盟(以下「議員連盟」)発足
H25.5.22	関東地方知事会で「山の日」制定について長野県から提案、国に対し要請
H25.8.9	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H25.9.9～10	議員連盟による上高地視察研修(10.9～10:大分県視察研修)
H25.10.30	議員連盟総会「8月12日」を候補日とする案発表
H25.11.7	議員連盟総会「8月12日」に対する群馬県上野村長らの日航機墜落事故の日であることによる異論に対し、再検討
H25.11.11	全国「山の日」制定協議会設立 長野県、松本市も参画(平成26年5月28日「全国『山の日』協議会と改称」)
H25.11.16～20	岳都・松本「山岳フォーラム2013」開催
H25.11.22	議員連盟総会「8月11日」を候補日とすることで了承
H25.12.19	全国知事会で国民の祝日としての「山の日」制定に協力願いたい旨発言があり場内了承
H26.1.24	議員連盟総会「国民の祝日に関する法律」改正法案を了承
H26.5.23	祝日法改正案が可決成立
H26.7.14	「信州 山の日」は7月の第4日曜日とし、「信州山の月間」は7月15日から8月14日とする旨の長野県報公告
H26.8.10～12	「山の日」制定記念行事が上高地ほかで開催
H26.11.29～30	岳都・松本「山岳フォーラム2014」開催
H27.3.24	議員連盟が、第1回「山の日」を記念する全国大会(以下「全国大会」という。)開催地の上高地決定、開催支援を求める要望書を内閣官房長官へ提出
H27.3.28～29	全国「山の日」フォーラムが東京都内で開催され、松本市出展
H27.5.15	全国大会開催地の上高地決定に向け、長野県、松本市及び上高地町会が連名で協議会及び議員連盟へ要望書を提出
H27.5.22	協議会通常総会で、上高地を全国大会の開催地とすることを承認
H27.10.1	「山の日記念大会推進室」を松本市に設置

## 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会規約

### (名称)

第1条 本会は、第1回「山の日」記念全国大会実行委員会(以下「実行委員会」という。)という。

### (目的)

第2条 実行委員会は、第1回となる国民の祝日「山の日」の記念全国大会(以下「大会」という。)を長野県松本市上高地等で開催し、「山の日」の意義への理解を深め、広く浸透を図り、貴重な山岳環境を次世代へ引き継ぐとともに、歴史や文化、環境、教育、観光、健康、山岳遭難、自然災害等、山に係る様々な課題の解決につながる契機とするため、必要な事業を行うことを目的とする。

### (事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)大会の開催に関すること。
- (2)大会に関する関係機関、団体との連絡調整等に関すること。
- (3)大会に関する広報活動に関すること。
- (4)「山の日」の制定を通じた「山」に関わる施策の展開に関すること。
- (5)前4号に掲げるものの他、実行委員会が必要と認めること。

### (構成及び任期)

第4条 実行委員会は、第2条の目的に賛同する委員をもって構成する。

2 委員の任期は、実行委員会が解散するまでとする。

### (役員)

第5条 実行委員会に、会長、副会長、監事を置く。

2 会長は松本市長をもってこれに充て、副会長は全国「山の日」協議会副会長、長野県副知事、松本市副市長、上高地町会長の職にある者をもってこれに充てる。

3 監事は、委員のなかから会長が指名する。

### (役員の仕事)

第6条 会長は本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 監事は、会計を監査する。

### (名誉顧問等)

第7条 実行委員会に、名誉顧問、顧問及び名誉会長を、それぞれ若干名置くことができる。

2 名誉顧問、顧問及び名誉会長は、会長が委嘱し、会長の求めに応じ意見を述べることができる。

3 名誉顧問、顧問及び名誉会長の任期は第4条2項の規定を準用する。

### (運営委員)

第8条 会長は、具体的な事業及び予算の円滑な執行にあたらせるため、運営委員を置くことができる。

2 運営委員は、実行委員会を構成する委員の所属する団体又は行政機関の職員であって、現地での速やかな対応が可能な者の中から会長が委嘱し、任期は第4条2項の規定を準用する。

3 運営委員長は、運営委員のなかから会長が指名する。

### (会議)

第9条 会議は、総会及び運営委員会とする。

### (総会)

- 第10条 総会は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。
- 2 総会は、委員の過半数の出席がなければこれを開くことができない。
- 3 総会は、次の事項を審議し決定する。
- (1)規約の制定及び改廃に関すること。
  - (2)事業計画に関すること。
  - (3)収支予算及び決算に関すること。
  - (4)その他委員会が必要と認めること。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は、議長の決するところとする。
- 5 やむを得ない理由のため、実行委員会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は委員の指定した者を代理人として、表決を委任することができる。この場合、同条第2項及び第4項の規定の適用については、出席したものとみなす。

### (専決処分)

- 第11条 会長は、緊急を要する場合は、総会で決議すべき事項を専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを総会に報告しなければならない。

### (運営委員会)

- 第12条 運営委員会は運営委員長が招集し、議長となる。
- 2 運営委員会は、次の事項を所掌する。
- (1)総会において決議した事項の執行に関すること。
  - (2)その他、総会において必要と認められた事項に関すること。
- 3 運営委員会には、第10条第2項及び第4項から第5項までの規定を準用する。

### (事務局)

- 第13条 実行委員会の事務局は、松本市商工観光部山の日記念大会推進室に置く。
- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### (経費)

- 第14条 実行委員会の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金、その他の収入をもってこれに充てる。

### (会計年度)

- 第15条 実行委員会の会計年度は、実行委員会が設立した日から平成28年12月31日までとする。ただし、実行委員会が解散した場合は、総会の承認をもって会計を閉じるものとする。

### (解散)

- 第16条 実行委員会は、その目的が達成されたとき、総会の決議を経て解散する。
- 2 実行委員会が解散する際に剰余金又は欠損金が生じたときは、総会で協議し処理する。

### (補則)

- 第17条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

- 附 則 この規約は、平成28年1月8日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成28年4月28日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成28年7月15日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成28年10月1日から施行する。



松沢 哲郎

一般財団法人全国山の日協議会 副会長  
京都大学高等研究院・特別教授

## 山頂への憧憬

山の日が発足した2016年は、マナスル初登頂から60周年でもありました。1956年5月9日、今西壽雄とギャルツェン・ノルプの2人が山頂に立ちました。今西さんは京大山岳部の先輩で、のちに日本山岳会長もつとめました。「自然を愛し、山に親しむ」が座右の銘です。山の日制定趣旨、「山に親しみ、山の恩恵に感謝する日」に通じます。私事ながらわたくしもヒマラヤに4度行きました。カンチェンジュンガに2度行って登頂はならず、シシヤパンマ8027メートルに登頂しました。そのとき初めて頂上の意味を体感しました。頂上直下まで、登るにつれて視界は広がります。北のチベット高原が見える。エベレストも遠望できる。でも180度の視界です。頂上に立った瞬間、360度の視界が開けます。南面のネパール側の緑の谷が、その先にインド平原が見える。大小の差はあれ、360度の視界は頂上だけがもっている特性です。すべてが見渡せる。世界の見え方が変わる。頂上に立つ達成感のひとつは、その一瞬にあるのではないのでしょうか。







上條 敏昭  
上高地町会長

## 第1回「山の日」記念式典 会場に上高地＝深謝

「山の日」に関するお話しは数年前からお聞きしておりました。とりわけ上高地は山を筆頭に自然が命でありますので、「山の日」の祝日が出来ることへの思い入れは地域あげてのことだったと思います。

シーズン営業の上高地が本格的な賑わいを見せ始めるのは7月の「海の日」位からです。従って私どもにしてみたら海の日イコール山の日というイメージもあった気が致します。

長野県には「信州山の日」というものがあります。その日を制定調整した時のお話しを聞けば、当初は海の日と県の山の日を同日にするもののメリットはあるが、その事によっては海の日では、まだ梅雨が明けない等の指摘もあり7月第4日曜日となったようであります。

この二つの山の日、紛らわしく思われる人もいるかもしれません。

扱、8月11日「山の日」の制定はたった2年で決まったとお聞きし、スピーディーな取り組みをしてくれた関係者に改めて感謝申し上げたいと思います。

数年前から国民の祝日として山の日制定を目指す超党派の国会議員の先生方が上高地合宿と称して地元の我々と懇談していただけたことが何より有難かったことでもあります。そして昨年(2015年)1月、第1回山の日記念式典を上高地で行いたい、については皇室をお呼びするかもしれない。が速やかに地元意向がほしいという話しをいただきました。気持ちに良き動揺はありましたが、大変な名誉なことでもありその実現に向けて進み始めました。同時に上高地の名前の大きさに敬服させられたことも事実であります。

開催に向けて山の日記念大会推進室も発足され、地元もその日に向けて歩み始めました。

当日は何よりも天候にも恵まれ、皇太子さま御一家3人の御臨席をいただきました。大使館関係者はじめ多くの御来賓からも上高地入りをしていただき盛況のうちに終わらせることが出来ました。

記念式典のあと、皇太子さま、雅子さま、愛子さまには上高地散策を楽しんでいただきました。自然や山が大好きな御一家である様子が伺われ、終始和やかに、また周りの方々への配慮も忘れず手を振っていらっしゃいました。

皇太子さまには前夜のレセプションでお会いさせていただいておりましたので多少緊張も解けており、自分の少ない知識をフル回転させ話しをさせていただきました。

雅子さまからは、嫁ぐ前西穂高独標に登られたことをお聞きしました。

愛子さまは、魚のこと、水のことに興味をお持ちのようでした。先日新聞で都内での「水の日」に出席されたことを知りました。明神池ではお帰り際、上高地の水の事をお話ししましたところ戻られて「水に触れてもいいですか」とおっしゃられ御三人で水に触れられて「充分冷たいですね」とおっしゃっていました。

御案内させていただく際の注意点を言われておりましたので残念ながらお聞きしたいことは控えさせていただきました。

帰り際、上高地の朝のすがすがしい空気を胸一杯に吸ってほしくて「今度はお泊りでお越しください」と申し上げ、夢のような時間を閉めくらせていただきました。



## 磯野 剛太

一般財団法人全国山の日協議会 代表理事 理事長  
公益社団法人日本山岳ガイド協会 代表理事 理事長

2016年8月11日の第1回「山の日」記念全国大会は、本書のとおり上高地および松本市に於いて、皇太子殿下ご一家ご臨席の下開催された。晴天にも恵まれて、初めての祝日を記念する意義深いものであった。第2回の記念大会は、栃木県那須町で開催されることに決定した。毎年8月11日に、祝日の意義「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を広く国民に周知するための集大成として、記念大会を全国各地で開催することは、その地域への関心を高め、全国各地の素晴らしい山や自然、文化、物産などを知ってもらうための絶好の機会でもあるだろう。

しかしながら、ただ行事やお祭りとしてではなく、私たち全国山の日協議会が提起している4つの課題、子ども達の育成、山岳遭難・災害の防止、森林と水源を守る、地域社会の活性等々、我国の根幹にかかわる諸問題を取り上げていって欲しい。勿論、国土の環境保護・保全についての取り組みは、その全てに内包するのではあるが。

特に子ども達のこと大切だ。現代社会では、多くの子ども達が自然への感性を失ってしまっている。暑さ寒さ、風を感じる、方向感覚、歩くこと、そして自然の中で生き抜くこと。都会の便利さの中で、外部からの調整や注意喚起に慣らされて、自らの判断が物事を左右することを忘れてしまっているようだ。子ども達が、スマート・フォンやパソコンなどバーチャルの世界の中で育っているように感じるのは、私だけではないだろう。

たくましい子ども達を育てるためには、初中等教育の中での自然体験が重要で、遠足、林間学校や修学旅行を、この方面に活用することが肝心だ。実現するには、子ども達よりもたくましい大人達、指導者達が必要で、これは両親でも学校の先生方でもよいはずだ。私たちが別の分野で養成している山岳ガイド・自然ガイド達でも可能だろう。

他の三つの課題も重要で、それらの課題は、逆に地域活性の絶好の機会でもある。但し、他人の補助を待っては、成功には覚束ない。自らの努力と、地域の魅力、それも山と自然だけではなく、文化的・人間的な魅力を含めてのものではない。2020年には4,000万人と言われる、訪日外国人の数多くが日本の山と自然、風土に興味を持つはずだ。「山の日」から各課題に取り組む、地道で継続的な活動を期待したい。

## 協賛活動

本大会の開催趣旨に賛同し、式典行事の開催や広報活動に要する資金等を提供していただくことを目的に、企業・団体・個人等を対象に“みんなで山の未来をつくる夏”をキャッチフレーズとして協賛を依頼し、資金協賛(報道特別協賛含む)と物品協賛、個人による寄付をあわせて88者の皆さまに参画いただきました。

### ■協賛のご案内

協賛の依頼に際し活用したプレゼン資料「協賛のご案内」では、上高地の美しい自然や雄大な山の写真を多用しながら、「山の日」が国民の祝日として制定された意義や、第1回の全国大会開催地として長野県松本市・上高地が担う使命(大会理念)を丁寧に説明し、大会に協賛者として参画することの意義に賛同いただけるよう工夫を重ねました。

また、山は私たちにとって楽しみを与えてくれる様々なアクティビティの舞台でもあることから、資料の所々にちょっとした遊び心を効かせました。



### ■協賛の内容

大会の実施に際しては、その周知のための様々な広報活動や式典行事の設営等で多くの資金を要します。また、スタッフの統一したウェアや大会期間中の飲料など運営上不可欠となる物品もあります。そのため、本大会の協賛としては、資金協賛と物品協賛の2種類の項目を設定しました。

#### 1 資金協賛

大会行事の実施に要する資金を79者の皆さまにご提供いただきました。

[内訳] 企業・個人等による資金協賛 71者、報道特別協賛 8者

[協賛総額] 4,858万円

#### 2 物品協賛

大会行事の実施に要する物品を12者の皆さまにご提供いただきました。

[内訳] スタッフウェア、招待者記念品(菓子、酒、登山用行動食、登山携行品など)、飲料(水、ワイン、日本酒、ビールなど)、ツキ板、農産物(すいかなど)

[協賛規模] 1,300万円相当

■協賛の種類及び協賛者数



区 分		天空協賛	頂上協賛	8合目協賛	5合目協賛	3合目協賛	1合目協賛	サポーター協賛	報道特別協賛	個人による寄付	
		300万円を超えるもの	300万円	100万円	50万円	25万円	10万円	一口3万円			
1	式典等への特別招待者枠の確保		○							別段の取決めによる※	
	式典大型ディスプレイでの紹介	協賛者ロゴ	○	○							
		協賛者名	○	○	○						
	オフィシャルガイドブックへの掲載	協賛者ロゴ	○	○							
		協賛者名	○	○	○	○	○				
	式典会場協賛企業横断幕へのロゴ掲載	協賛者ロゴ	○	○	○						
	大会記念誌への掲載	協賛者ロゴ	○	○							
		協賛者名	○	○	○	○	○	○			
	大会ウェブサイトへの掲載	トップページメイン4枠	協賛者ロゴ/リンク	○							
		大会理念ページ	協賛者ロゴ/リンク	△	○						
トップページ		協賛者ロゴ	△	○	○	○					
		協賛者名	△	○	○	○	○				
3	全県版新聞採録記事への掲載(1回、9月頃)	協賛者ロゴ	○								
		協賛者名	○	○	○						
	記念行事告知チラシへの掲載	協賛者名	○	○	○	○					
	海外メディア向けプレスツアーでの協賛企業取組PR	個別相談	○	○							
4	記念行事「展示会」でのブース出展	サイズは別途	○	○	△						
	記念行事会場等での協賛者パンフレット配布	A4サイズまで	○	○	○	○	○				
5	支援者呼称(シンボルマーク)の使用		○	○	○	○	○	○			
協賛者数		5	-	11	17	8	26	11	9	1	

※特集番組等の企画や特集記事等の制作を編集とタイアップして実施しました。

■協賛者一覧(五十音順、敬称略)

味の素株式会社、あづみ農業協同組合、アルピコホールディングス株式会社、有限会社泡の湯旅館、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー松本事業所、株式会社井上、株式会社エイコー、株式会社王滝、上高地タクシー運営協議会、株式会社カモシカスポーツ、特定非営利活動法人北アルプスブロードバンドネットワーク、北野建設株式会社松本支店、キッセイコムテック株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、一般財団法人休暇村協会、キリンビール株式会社 長野支店、クラブツーリズム株式会社、株式会社小石興業、株式会社好日山荘、公益社団法人国土緑化推進機構、国有林観光施設協議会、小松正幸、酒井産業株式会社、佐藤直樹、株式会社JT B中部 松本支店、社会医療法人財団慈泉会 相澤病院、島貫仁史、清水建設株式会社関東支店、松塩筑安曇野温泉協会、有限会社白船荘新宅旅館、信州大学、株式会社信州芽吹堂、国立研究開発法人森林総合研究所、セイコーエプソン株式会社、全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会、株式会社綜合印刷、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、大雪酒造株式会社、株式会社竹中工務店長野営業所、中部電力株式会社、手島泰六後援会、東京医科大学、東京海上日動火災保険株式会社、鳥臣、中日本エクシス株式会社八王子支店、株式会社長野銀行、長野県酒造組合、長野県信用組合、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会、一般社団法人長野県林業コンサルタント協会、一般社団法人長野県林業センター、日清食品ホールディングス株式会社、日本山岳救助機構合同会社、一般財団法人日本森林林業振興会長野支部、日本費用補償少額短期保険株式会社、日本郵便株式会社信越支社、株式会社博報堂アイ・スタジオ、ハシバテクノス株式会社、株式会社八十二銀行、東日本電信電話株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社finetrack、富士電機株式会社、一般社団法人富士見町開発公社 富士見パノラマリポート、社会医療法人抱生会 丸の内病院、松本ガス株式会社、松本市上下水道局、松本信用金庫、松本石匠組合、松本大学、松本ハイランド農業協同組合、有限会社丸山菓子舗、株式会社モンベル、株式会社ヤマレコ、林業・木材製造業労働災害防止協会長野県支部、株式会社わかさ出版 他2者

■報道特別協賛者一覧(五十音順、敬称略)

abn長野朝日放送、SBC信越放送、NHK長野放送局、NBS長野放送、信濃毎日新聞社、市民タイムス、TSBテレビ信州、テレビ松本ケーブルビジョン、山と溪谷社

■大会期間中における協賛者紹介

大会期間中の様々な場面を活用して、協賛者の名称等を紹介しました。

1 大型モニター掲出

記念式典と祝祭式典の両会場において、開場してから式典が始まるまでの時間を使い、協賛者を紹介するDVDの上映を複数回実施しました。

内容	対象
ロゴ表示	天空、頂上、8合目
テキスト表示	5合目

区分	記念式典会場	祝祭式典会場
日時	8月11日(木) 午前8時～9時(複数回)	8月11日(木) 午後0時50分～1時20分(複数回)
場所	上高地バスターミナル	まつもと市民芸術館



記念式典会場



祝祭式典会場

2 大型バナー掲出

記念式典と祝祭式典の両会場において、大型のバナーを設置し協賛者を紹介しました。

内容	対象
ロゴ表示	天空、頂上、8合目、5合目

区分	記念式典会場	祝祭式典会場
日時	8月11日(木)終日	8月11日(木)終日
場所	上高地バスターミナル 招待者入場口正面奥	まつもと市民芸術館 招待者入場口付近
サイズ	横3.6m×縦2.0m	横1.8m×縦1.8m



記念式典会場



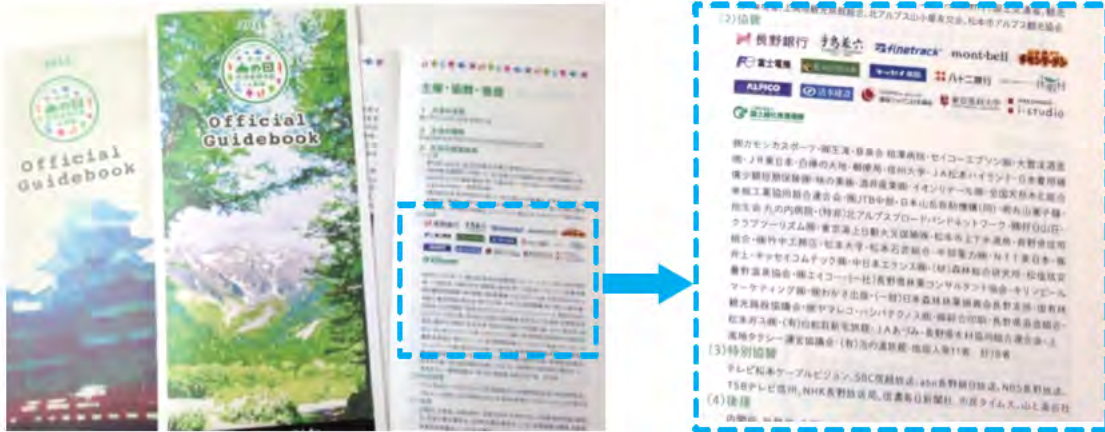
祝祭式典会場

### 3 オフィシャルガイドブックでの紹介

内容	対象
ロゴ表示	天空、頂上、8合目
テキスト表示	5合目、3合目、1合目

配付期間	大会期間中:8月10~11日
配付対象	招待者、出演者、主催者・大会関係者、スタッフほか
制作部数	3,000部



### 4 事務局ユニフォームでの紹介

事務局員15名が着用するベストの任意の場所に協賛者名(ロゴ)を印刷したシールを貼付し、各自の担当エリア等でPRしました。

内容	対象
ロゴ表示	天空、頂上、8合目

着用期間	大会期間中:8月10~11日
着用場所	上高地、松本市内
制作内容	布ステッカー 天空・頂上:横10cm×縦4cm、8合目:横7cm×縦3cm



事務局員15名が  
各担当エリアで着用しPR。  
(配置は任意)

### 5 大会周知チラシでの紹介

内容	対象※
ロゴ表示	天空、頂上、8合目
テキスト表示	5合目、3合目、1合目

※入稿日時時点の協賛者のみ

設置期間	7月15日～
設置場所	県内(77市町村、小中高等学校、県関係機関、市関係機関) 県外(県関係機関、47都道府県、関係省庁、協賛者、全国山の日協議会員) ほか 全国約1,000ヶ所
制作内容	A4カラー、両面 50,000部



<p>【協賛】</p> <p> </p> <p> <small>           電力モシカススポーツ・園王滝・温泉会 相澤病院・セイコーエプソン製・大聖酒造製・J日東日本・白樺の大地・郵便局・信州大学・JA松本ハイランド・日本費用補償少額短期保険・味の素・酒井産業・イオンリテール製・全国天然水化総合工業協同組合連合会・丸JTB中部・日本山岳救助機構(財)・徳丸山薬子製・抱生会 丸の内病院・(特許)北アルプスブロードバンドネットワーク・美好日山荘・クラブツーリズム美            東京海上日動火災保険製・松本市上下水道局・長野県信用組合・徳竹中工務店・松本大学・松本石置製・中創電力製・NTT東日本・練井上・キッセイコムテック製・中日本エクスプレス製・(財)森林総合研究所            松電気安曇野温泉協会・東エィコー(一社)長野県林業コンサルタント協会・キリンビールマーケティング製・あわかさ出版(一財)日本森林林業振興会長野支部・国有林観光施設協議会・西ヤマレコ            ハンパテクノス製・福総合印刷・長野県酒造組合・松本ガス製・JAあづみ・上高地タクシー運営協議会・長野県木材協同組合連合会(H28.6.30現在)協賛区分後、お申込み順)         </small> </p> <p> <small>           【特別協賛】 テレビ松本ケーブルビジョン・SBC信越放送・abn長野朝日放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・NHK長野放送局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・山と溪谷社         </small> </p> <p> <small>           【後援】 外務省・全国知事会・全国市長会・全国町村会・全国市議会連合会・長野県林業団体協議会(一社)信州・長野県観光機構(H28.7.11現在)         </small> </p>
--

### 6 大会周知ポスターでの紹介

内容	対象※
ロゴ表示	天空、頂上、8合目
テキスト表示	5合目、3合目、1合目

※入稿日時時点の協賛者のみ

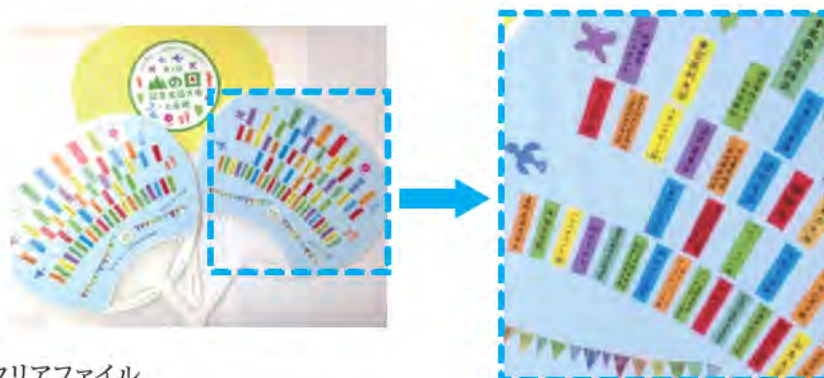
設置期間	7月11日～
設置場所	県内(77市町村、小中高等学校、県関係機関、市関係機関) 県外(県関係機関、47都道府県、関係省庁、協賛者、全国山の日協議会員) ほか 全国約3,000ヶ所
制作内容	A2版 13,000部、 B1版 300部

7 ノベルティグッズでの紹介

(1) 大会うちわ

片面には大会ロゴマークを、その裏面には短冊風に協賛者を紹介した大会うちわを制作し、夏の各イベントで配布しました。各会場では、涼しげでかわいいデザインが好評で、暑い夏を涼しく乗り切れそうだと複数持ち帰る方もいました。

区分	初 版	第2版
配布期間	7月15日～	大会期間中(8月10・11日)
配布場所	海フェスタ東三河、松本ぼんぼん、 該当協賛者 ほか	信州四方山祭りin松本城、祝祭式典参加者、 木育キャラバン@MIDORI
制作内容	3,000本	3,000本



(2) 大会クリアファイル

大会のメインポスターのイメージをそのままに、クリアファイルを制作しました。

配布期間	8月10日～
配布場所	出演者、大会関係者 ほか
制作内容	1,000部

■大会終了後

9月25日付の信濃毎日新聞(全県版)の大会採録記事内に、天空・頂上・8合目・5合目協賛者を掲載しました。

■協賛お礼

協賛者に対し、実行委員会から感謝状と記念品を謹呈しました。

1 感謝状

協賛者の全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会から提供いただいたヒノキのツキ板を使用し、おもて面には感謝状、うら面には大会記録写真等を印刷し、1つずつ手作りで制作しました。

2 記念品

観光用の土産品の一つであるペナントに今大会をイメージした上高地の図柄とロゴマークを配し、協賛者への記念品として制作しました。ペナントにはシリアルナンバーを付記しています。



感謝状(おもて)



感謝状(うら)



ツキ板(ヒノキ)



ペナント



## 広報活動

「山の日」の制定趣旨や大会の開催理念等を広く周知するとともに、山岳県信州、岳都松本の景観や山岳文化等の魅力を国内外に発信するための広報活動を行いました。

### ■実行委員会主体の広報活動

#### 1 インターネットの利用

##### (1)大会専用ホームページ（平成28年1月29日開設）

○閲覧数 418,205PV(平成29年1月末時点)

月平均 約34,800PVの閲覧 ピーク:8月11日(42,350PV)

##### (2)公式SNS(フェイスブック・インスタグラム)（平成28年2月上旬開設）

○フェイスブック公式ページへの「いいね」の件数 701人(平成29年1月末時点)

○フェイスブック・インスタグラム情報発信件数 200件(平成29年1月末時点)

##### (3)各種WEBサイトを通じた大会情報の発信（平成28年4月以降）

○海外メディアツアー(後述)による海外へのWEB情報発信 6件

○旅行・レジャー関連サイトに情報掲載

(Yahoo!ロコ、朝日新聞デジタル、日本旅行・KADOKAWA・BIGLOBE旅行サイト、パナソニックおでかけ旅ガイド等)

#### 2 チラシ・ポスターの配布

##### (1)チラシ

①大会概要版と②大会直前告知版の2種類を作成し、国・県・市関係施設、県内学校、観光関連施設、協賛企業窓口等に設置(①は県内コンビニエンスストア800店舗に設置)

①:2月(50,000枚)、6月(20,000枚(ロゴ入り))



②:7月(50,000枚)



##### (2)ポスター

①ロゴマーク版と②上高地風景版の2種類を作成し、国・県・市関係施設、県内学校、観光関連施設、協賛企業窓口等に設置(①は県内コンビニエンスストア441店舗に設置)

①:6月  
(5,500枚、B2・A2版)



②:7月  
(13,000枚、B1・A2版)



##### 映画タイアップポスター



### 3 看板・横断幕等の掲出

<p>【松本市役所】</p> <p>懸垂幕</p>  <p>6月:本庁舎</p>	<p>記念撮影ボード</p>  <p>7月中旬:東庁舎</p>	<p>【松本市街】</p> <p>松本市上下水道局前看板</p>  <p>7月中旬:松本I、C出口付近 他、下げピラを商店街等に掲出</p>
<p>【JR松本駅】</p> <p>横断幕</p>  <p>8月9～12日:お城口 他階段壁5か所にポスター掲出</p>	<p>「山の日」の書</p>  <p>松本蟻ヶ崎高校書道部 7月下旬:お城口</p>	<p>【JR長野駅】</p> <p>大型フラッグ</p>  <p>8月5～11日:自由通路 他駅前大型ディスプレイで告知</p>

### 4 広報グッズの製作

大会オリジナルグッズを製作し、大会会場、全国各地のイベント、実行委員会・県・市主催の会議、県内公共施設窓口等で配布・設置しました。

 <p>【手作りゴム印コースター】 1月:約1,000枚</p>	 <p>【ロゴマークコースター】 5月:10,000枚</p>	 <p>【観光宣伝用ポリ袋】 5月:10,000枚</p>	 <p>【ミニのぼり旗】 6月:200個</p>	 <p>【ピンバッジ】 5月:6,000個</p>
 <p>【クリアファイル】 7月:1,000枚</p>	 <p>【ロゴマークシール(25mm)】 5月:10,000枚 「松本の水」キャップに 貼付し配布</p>	 <p>【ロゴマークシール(A5版)】 5月:10,000枚</p>		
 <p>【銀座NAGANOコラボ扇子】 6月:10,000枚</p>	 <p>【うちわ(協賛企業名入)】 6月:6,000枚</p>			

## ■各種媒体の利用、イベントへの出展、その他の広報活動

### 1 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等

各種広報媒体を有機的に連動させ、費用対効果の高い広報を展開しました。特にテレビ等のメディア8社を「特別協賛」として、特集番組等の企画や特集記事等の制作・編集をタイアップで実施しました。ラジオではパブリシティ枠を積極的に活用し、事務局職員の出演等による情報発信を行いました。

#### (1) テレビ

	全国・県外	県内
5月30日		テレビ松本 広報まつもと 大会告知
7月2日	テレビ朝日 旅サラダ 大会告知	
7月6日		NHK イブニング信州 上高地生中継
7月8日		TSB ゆうがたゲット 山の日特集 北日本テレビ・福井放送・テレビ金沢でも放送
7月14日		TSB Fresh 大会告知
7月24日		ABN 地球を守ろうグリーンアクション 大会告知
7月26日	テレビ東京 なんでも鑑定団 山の日記念in松本市奈川	
7月28日	CBC ゴゴスマ 大会告知	NHK ひるトク 大会告知
8月1日		SBC 3時は!ららら♪ 蝶ヶ岳生中継
8月5日		NBS フォーカス信州 上高地生中継
8月6日		ABN 駅前テレビ 大会告知
8月8日	CBC まちイチ-Going舞way!~ 大会告知	
8月9日		NBS みんなのニュース 大会告知
8月11日 (山の日)	TBS あさチャン! 上高地生中継	テレビ松本 大会生中継 6時間特別番組 SBC 3時は!ららら♪ 上高地生中継
大会後	10月2日 日本テレビ 皇室日記 11月13日 BSジャパン 皇室の窓スペシャル 12月23日 フジテレビ 皇室スペシャル2016	8月14日 TSB なんでも鑑定団 山の日記念in松本市奈川 10月1日 みつめて!信州生テレビ 上高地生中継

#### (2) ラジオ

	全国・県外	県内
平成27年10月 ~平成28年4月	4月21、26、27、28日 むさしのFM THE信州・耳より情報	10月26日 SBCラジオ もっとまつもと! 3月11日 あづみ野FM 頂は今日も晴天なり
5月	1、8、15、22日 調布FM JOYFUL PASSPORT 22日 FM Salus SundaySALUS 29日 FM Salus ノマドの丘	
6月3日	FM西東京 まちともプラス 信州情報	
6月18日	ABCラジオ 柴田博のほたるまち旅行社	
6月22日	ABCラジオ ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です	
6月25日	RKBラジオ たかちゃんの電リクじゃんけん	
6月27日	ハッピーFMいたみ ハッピーファミリー~伊丹ふれあい通り~	
7月16日		SBCラジオ 武田徹のつれづれ散歩道
7月17日	FM豊橋 海フェスタ東三河生放送	
7月21日		FMまつもと まつもとCityNavi
7月23日		SBCラジオ 武田徹のつれづれ散歩道 FMまつもと まつもとCityNavi
7月25日		あづみ野FM 中柴香苗の水色の時間
7月26日	ラジオ大阪 ほんまもん!原田年晴です	SBCラジオ もっとまつもと!
7月29日		あづみ野FM 中柴香苗の水色の時間
7月30日	FM湘南ナバサ ラジオは友達Oh!ナバサ	SBCラジオ 武田徹のつれづれ散歩道
8月6日		SBCラジオ 武田徹のつれづれ散歩道
8月7日	FM NAC5 SUNDAY BIRDS-遊びの天才-	
8月8日	TBSラジオ コンシェルジュ 香掛博光の旅しま専科	あづみ野FM 中柴香苗の水色の時間
8月11日 (山の日)	ラジオ大阪 ほんまもん!原田年晴です FM NAC5 SUNDAY BIRDS-遊びの天才-(生中継) RKBラジオ さわやか信州レポート(生中継) 毎日放送 こんにちはコンちゃんです お昼ですよ!	
8月13日		あづみ野FM 中柴香苗の水色の時間

- 8月10日、11日 県内各局 ニュースや中継等で大会の様子を放送
- 8月1日~10日 TSBテレビ信州 信州四方山祭り告知CM放映 (期間中合計25回)
- 8月8日~11日 ABN長野朝日放送 長野駅前大型ビジョンでの大会告知 (1日60回(1回15秒間)×4日間=合計240回)
- テレビ松本ケーブルビジョンによる大会当日の中継等
  - ・大会生中継6時間特別番組(4K放送を含む全国ケーブルテレビ網)
  - ・大会パブリックビューイング(松本城、松本市民芸術館、長野県庁、銀座NAGANOにおいて)
  - ・インターネット生中継
- 海外テレビ放送
  - ・NHKワールド「ニュースライン」(取材協力と情報提供)
  - ・台湾・ベトナムで特集番組放映(海外メディアツアー(後述)での取材)

(3)新聞

記事掲載合計 203件 (平成27年10月～平成29年1月末 事務局把握分)

<主な特集記事等>

【全国紙】

- 読売新聞 上高地と山の日特集 2ページ全面(編集記事)(7月24日)
- 日本経済新聞 山の日特集 2ページ全面(大会告知広告の掲出)(7月29日)

【県内紙】

- 信濃毎日新聞 (県内全域向け)
  - ・大会関連行事紹介 1ページ全面(6月30日)
  - ・記念式典当日特集 4ページ全面(8月11日)
  - ・大会採録特集 2ページ全面(9月25日)
  - ・信州四方山祭りの開催告知 5段1/2 (7月28日、8月1日、6日、7日、9日の計5回掲出)
- 市民タイムス (松本地域向け)
  - ・記念大会特集 16ページ(8月3日)
  - ・信州四方山祭りの開催告知 5段1/2 (7月29日、8月3日、6日、10日の計4回掲出)

【その他】

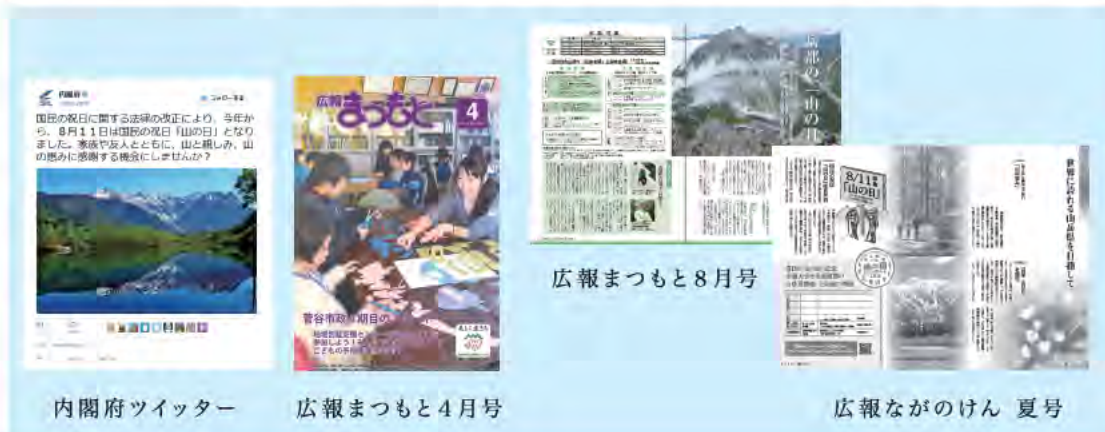
- 中日子どもウィークリー(愛知) 山の日と上高地の特集記事(7月23日)
- 大阪日日新聞(大阪) 特集記事(8月9日)

(4)雑誌等

- 「山と溪谷」、「ワンダーフォーゲル」(山と溪谷社) 大会告知掲出 カラー1ページ
- 「地図中心」(日本地図センター) 記念大会の巻頭特集 カラー3ページ
- 「DIME」(小学館)、その他一般情報誌、松本商工会議所広報誌、県内発行の各種機関誌等の 広報誌36件に大会関連記事の掲出

2 国、県及び市の公共的媒体による広報

区分	主な内容
政府、各省庁等	・内閣府ツイッター、各省庁公式サイト等、インターネットを利用した情報発信 ・各機関誌への情報掲載
松本市	・公式サイトを利用した情報発信 ・広報誌「広報まつもと」への記事掲載 (8月号 山の日特集「岳都の山の日」4ページ 他)
長野県	・公式サイトを利用した情報発信 ・広報誌「広報ながのけん」への記事掲載 (夏号 山の日特集「世界に誇れる山岳県を目指して」4ページ 他)



内閣府ツイッター

広報まつもと4月号

広報ながのけん 夏号

### 3 イベントへの出展等

全国各地で開催されたイベント等でのブース出展やパネル展示により、大会をPRしました。

#### (1) ブース出展

○県内 全国植樹祭(6月5日 長野市 Mウェブ)、ウエスタン祭(6月5日 松本市上高地)  
松本山雅ホームゲーム・長銀デー(6月19日 松本市 アルウィン)

○県外 東京・愛知・大阪・福岡での計7つのイベントに出展(後ページで紹介)

#### (2) パネル展示等

信州夢街道フェスタ(6月11日・12日)、なんでも鑑定団収録会場(7月2日)、信州山岳サミットin松本(7月3日)、国際フラワーフォーラム(7月8日・9日)、長野駅イベントスペースりんごの広場(7月16日・8月6日)、長野銀行大名町支店パネル展(7月19日～8月12日)、松本山雅ホーム試合(8月7日・8月11日)、岳都・松本山岳フォーラム2016(11月26日・27日)

### 4 その他の広報・情報発信等

#### (1) 松本市観光大使による情報発信

- 山の日記念大会周知専用名刺
- 観光大使配布専用リーフレット
- 大会ホームページへの寄稿(田部井淳子さん 他)

#### (2) 各種会議等でのPR

- 第3回ロングトレイルシンポジウム(2月23日)
- ながぎん松本会定期総会(5月23日・24日)
- 山の日議員連盟総会(5月26日)
- 首相官邸への表敬訪問(7月26日)

#### (3) NEXCO中日本とタイアップした周知企画(6月～)

- 中央道 藤野～梓川全サービスエリアにタイアップポスター掲出
- サービスエリア割引券付大会タイアップチラシの作成(NEXCO作成 30,000枚)
- 大会タイアップイベント(大野川小中学生によるアルプホルン演奏)、山の日弁当の販売等を実施

#### (4) マスコミ等への大会説明等

- 大都市圏のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のマスコミ関係者と、県内観光関係者等が出席するマスコミ懇談会での大会PR(東京、愛知、大阪)
- 地元マスコミへの大会説明会(4月5日)
- 宮内記者会、在京記者への説明(7月29日)
- 大会当日の報道受付(8月10日～11日)  
上高地会場:上高地インフォメーションセンター前 報道テント内  
松本城会場:松本城公園 博物館前広場 本部テント内

#### (5) 国及び国関係機関を通じた広報

- 環境省 「山の日」周知のための中吊り広告を、JR中央線すべての車両(中央快速線、京葉線、青梅線、武蔵野線など)へ掲出(3月12日～18日)
- 農林水産省 本省消費者の部屋で開催の「森と山のこと考えてみませんか～森と山の漫画展～」で、大会ポスターの掲出とコースターの配布(6月20日～24日)
- その他国機関の広報媒体や広報グッズの活用(グッズは大会当日来賓の記念品として配布)

### (6)海外メディアツアーの開催

第1回「山の日」記念全国大会を契機として、世界で初めての「山」を対象とした祝日「山の日」を制定した意義や日本を代表する山岳観光地「上高地」の魅力、山に関する先進的な取組みを世界に発信するため、日本に駐在する海外メディアの記者(9か国/地域、11社/媒体)を招聘したメディアツアーを実施しました。ツアーの開催に際しては、世界各国・地域の在日外国報道機関に対し幅広いネットワークを持ち、これらのメディアを対象に日本各地を取材するツアーの企画・実施実績を豊富に持つ公益財団法人フォーリン・プレスセンターに事業を委託し実施しました。

○日程 平成28年6月9日～10日(上高地入りは9日夜)

①山の日・上高地プリーフィング(第1回「山の日」記念全国大会実行委員会事務局長 加藤銀次郎)  
加藤事務局長から、山の日制定の経過や、初めての記念全国大会の開催を通して目指していることを、開催地上高地の話題を織り交ぜながら資料を使って説明しました。また、日本人が山を覆う「雪形」の変化を暦の代わりとして農作業に活用するなど、山をよりどころに生きてきた文化を雪形の写真を用いて紹介しました。

②上高地散策(信州まつもと山岳ガイド協会やまみ理事長 石塚聡実)

雲一つない晴天の下、約2時間かけて上高地内を散策しました。途中、エコな山のおやつとして、大会協賛企業の日清食品(株)提供の「チキンラーメン」を味わっていただきました。

③上高地の取組み(上高地町会長 上條敏昭)

上高地の観光客の受け入れと環境の維持の両立のための地元の取組みの例として、上高地を美しくする会による清掃活動やマイカー規制の経過などを紹介しました。

④地域の企業の取組み(株ヤマレコ代表取締役社長 的場一峰)

登山専用のコミュニケーションサイトを運営する的場社長から、サイトの登山記録の登録などのデモンストレーションや、同社が県などと連携して取り組む山岳遭難対策モデル事業を紹介しました。



晴天下での上高地散策



昼食をとりながらの懇談

### ○参加メディア及び報道状況

ツアー参加メディア	TV	新聞	通信	報道状況
中国時報(台湾)		○		—
台湾テレビ(台湾)			○	7月4日付(テレビ放映1件/Web記事1件)「長年美しい山と川を守ってきた上高地は”神の故郷”。200万人の観光客が訪れ、台湾人も多く訪れる」
経済日報(中国)		○		—
vietnam television(ベトナム)	○			8月11日(12日)付(テレビ放映1件/Web記事1件)「日本8月11日を山の日に選定」 転載4件
Singapore Press Holdings/ Lianhe zaobao(シンガポール)		○		6月13日付(紙面1件/Web1件)「ごみが広がる富士山から警鐘 日本初の山の日が環境保護を発信する」転載2件
Ouest-France(フランス)		○		9月1日(8月31日)付(雑誌1件/Web1件)「成功:山が“離陸”」
dpa(Garman Press Agency)(ドイツ)			○	—
ilsole24ore(イタリア)	○	○		8月10日付(紙面1件/Web・動画1件)「日本:新しい祝日山の日」
Kristeligt Dagblad(デンマーク)	○			6月12日付(Web1件)「日本の山:自然景観を維持する難しさ」
USA TODAY(米国)	○			—
計11社(媒体)	4	5	2	計17件 (TV2件、新聞2件、Web記事6件、雑誌1件、転載6件)

# 第1回「山の日」記念全国大会 広報活動全国の旅

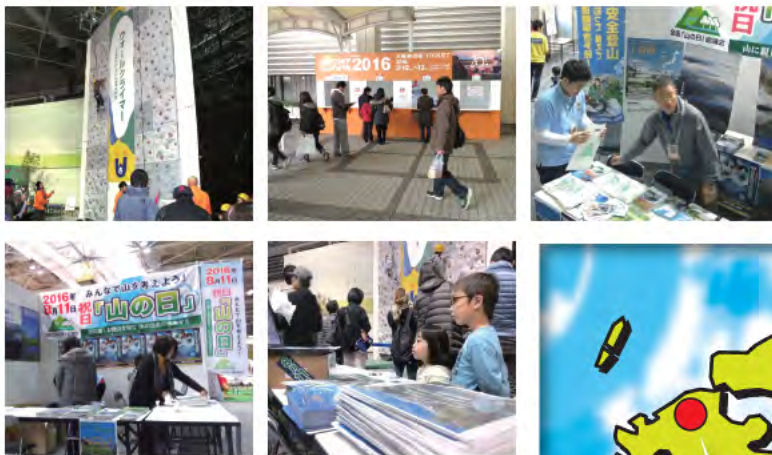
平成28年6月11・12日 夏山フェスタ 愛知・ウインクあいち



平成28年7月17・18日 海フェスタ東三河 愛知・ライフポートとよはし



平成28年3月12・13日 大阪アウトドアフェスティバル  
大阪・インテックス大阪



平成28年6月25・26日 九州夏山フェスタ 福岡・福岡タワー



## 全国各地の皆さん、 たくさんの「山へのメッセージ」ありがとうございました

「山の日」誕生と第1回の記念全国大会の開催を全国各地のみなさんに知っていただくため、東京、愛知、大阪、福岡で開催されたイベントにお邪魔しました。

東京・代々木公園でのイベントから、来場くださったみなさんに「山へのメッセージ」を書いてもらいました。シールになっている大会ロゴマークのモチーフにいろんな「山への思い」を書いていただき、「山の日2016.8.11上高地」とかたどったメッセージボードに貼ってもらいました。

このメッセージボードは、大会期間中、上高地インフォメーションセンター前に飾り、皆さんの思いを山に届けました。

平成28年3月4日  
「山の日」公式イベント  
東京・銀座NAGANO



平成28年4月23・24日 アースデイ東京2016 東京・代々木公園



平成28年5月14・15日

第26回森と花の祭典みどりの感謝祭みどりとふれあうフェスティバル 東京・日比谷公園





## スイス・グリンデルワルト 松本市姉妹都市

Grindelwald, Switzerland  
The sister city of Matsumoto

観光局 ペーター・エッガー/ブルーノ・ハウスヴィルト  
Grindelwald Tourism Peter Egger /Bruno Hauswirth



都会の価値観は、報道や教育、観光を通じて遠方へと発信され、それは私たちの住む山間地域に、社会的、文化的に急激な変化をもたらしました。

このような変化とともに、村の住民の間では、本来の、本物の価値を求める声が高まっています。元来、山岳地域はこれらの価値を有していることから、こうした動きは本来の価値を見つめなおす絶好の機会といえるでしょう。今回、日本国が山に大いなる価値を見出し、「山の日」を制定したことに、私たちは深く感銘を受けています。

Urban values are pressing through mass media, educational systems and tourism to the most remote places. They lead to a rapid change in the social and cultural aspects of our mountain regions. At the same time, the population of the villages increasingly seeks the original, the authentic, the real values. Right here is a great opportunity for mountain regions. Mountain regions often still present precisely these sought-after values. Japan shows with this special day the deep values and the connection to the mountains - we are deeply impressed.

### アイガー (3,970 メートル グリンデルワルト) Eiger (3,970 meters, Grindelwald)



© GRINDELWALD TOURISMUS

アイガーおよびその北壁は、登山のベテランはもちろん、そうでない人をも魅了しています。北壁を登るといふ幾多のドラマチックなチャレンジを通じ、アイガーは世界中に知られ、常に世間の注目の的となっています。またアイガーは、大衆の文化や広告など様々な場面に登場してきました。特にその北壁に焦点を当てた約50のフィクション作品が制作され、そのジャンルは小説や物語、演劇、詩、さらには叙事詩や漫画など、多岐に渡ります。

The Eiger and with it the north face of the Eiger fascinates both mountaineers and alpine laymen. Through dramatic attempts to climb this wall, the Eiger was known all over the world and has always been the focus of public attention. The Eiger has also been found in various ways in popular culture and advertising. About 50 fictional works have been written, which focus on the Eiger and largely on the Eiger North Face. Among them are novels, stories, play games, poems, as well as an epic and a comic

### シュレックホルン (4,078 メートル グリンデルワルト) Schreckhorn (4,078 meters, Grindelwald)



© GRINDELWALD TOURISMUS

シュレックホルンは標高 4,078 メートル、ヨーロッパ最北端の4,000m峰です。アルプスにある4,000m峰の中で最も高度な登山技術を要します。

またシュレックホルンは、アルピニズム初期よりも以前から、その名称はもとより、古典文学に登場するなど、ヨーロッパ中で知られていた数少ない山の一つです。

The Schreckhorn is at an altitude of 4'078 m above sea level, the northernmost four-thousand of Europe. The Schreckhorn is the mountaineer- technical most challenging four thousand in the Alps. The Schreckhorn is one of the few mountains that were known all over Europe before the classical age of alpinism, at least by name, and also found the way into classical literature.

スイス・グリンデルワルトと旧安曇村(現松本市安曇)は1972年に姉妹提携を結び、その後合併により松本市に引き継がれ、現在も交流を続けています。

今大会にも遠く本国からご臨席をいただき、その御礼として松本市より「木壁画」(あさのたかをデザインオフィス)をお贈りしました。信州の山岳風景をデザインし、木の自然な形や色、木目を活かして作られた温もり溢れる作品です。

Grindelwald and Azumi village (merged with Matsumoto City in 2005) established a sister city relationship in 1972 and have been building a good relationship until today. Matsumoto City sent this "Mokuhekiga" (Art work on wood, by Asano Takao) to Grindelwald with sincere appreciation for their attendance at the ceremony. This is the mountain scenery in Nagano. The natural color, shape and grain of wood make it warm and beautiful.





田部井 淳子

松本市観光大使  
登山家

## 山々に感謝する日

二〇一六年八月十一日は、国民の祝日として「山の日」が制定された最初の夏となります。社会人山岳会に入り岩や冬山縦走などを夢中で登っていたころ、特に北アルプスや南アルプス、中央アルプスは合宿の最適の場とし、正月休み、ゴールデンウィーク、そして夏合宿に選ばれた所でした。

新宿から夜行で松本まで乗り、松本電鉄に乗り換え、島々で降り、大きなキスリングの代金も支払ってバスに乗りこんだころの、あのワクワクする高揚感は、今も私の目に鮮やかに浮かんできます。

大学山岳部や社会人山岳部の多くの山好き組がキスリング姿で次々と並んでバスを待つ風景、この中に自分も入っているという誇らしさは、私の青春そのものでした。

大正池に着くころになると夜行で来て寝込んでいた人達も起き出し、バスの中の空気がザワザワとなり、いざ出陣にそなえるような空気に変わっていったことも今では本当になつかしいです。

はじめて上高地から涸沢を経て穂高に登ったのは21才の時、女子大の友人と二人で来た私たちの大冒険でした。あの感動を忘れることが出来ません。

その後山岳会に入り屏風岩や滝谷の岩など涸沢をベースにして各パーティに別れて早朝に出発して行く、この合宿が毎年のようにくり返され、冬の屏風岩にも来れるようになっていったのは、女子会員を公平に扱ってくれた社会人山岳会の先輩のおかげでした。この経験があった後に一九七〇年、ネパールヒマラヤが解禁となったおかげで、アンナプルナⅢ峰（七、五五五米）、続いてエベレスト（八、八四八米）が実現できたのだと思うと、本当にいい時代に生まれ、いい人達に囲まれ、育てていただいたのだ、ということをつくづく感じるのです。

その後、ヒマラヤや海外の遠征が続きましたが、50歳を過ぎてから再び国内の山歩きにのめりこみ、日本の山のすばらしさに開眼、夢中で岩を登っていたころは、花の存在にも気づかず、上へ、上へと迫っていきましたが、今は目指せ山頂よりも里山の美しさや多種多様の森林や高山植物におおわれた山や溪谷風景に心をうばわれています。

日本の山々の美しさと恵みは世界に誇る遺産だと思います。

あまりにも身近にありすぎた緑の山の存在を、改めて見直すことになったキッカケはヒマラヤはじめ海外の山々を歩き続けた結果だったとも思います。一九六〇～七〇年代は山は特別の人だけが登る所と思われていましたが、今は山へのアクセスが良くなり、女性のトイレや更衣室も山小屋に出来、百名山ブームと共に山ガールの山への進出も喜ばしいものと思います。より多くの人に日本の山の美しさと恵みの多様さを知っていただき、日本人が昔から信仰の対象とさえてきた聖なる山を、今「国民の祝日」として認められたことに対し心からうれしく思います。

この日を、山々に感謝する日として位置付けしていただきたいと思います。

田部井様は、平成28年10月20日に逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。



秋本 奈緒美  
松本市観光大使  
女優

## 山の国 松本

山は季節を連れてくる。  
春は麓からかけ上がり、  
秋は山肌を彩りながら街へと降りてくる。  
夏は鮮やかな緑に包まれ  
冬は雪の輝く凛とした世界。

私の故郷『松本』は、昔から国内外問わず、たくさんの方々が見学で訪れてくださり、またさらには山を愛する方々の山への玄関口でもある。

松本は喫茶店の多い街であった。幼い頃よりマイキな女の子だった私は、祖父や父に連れられ、プリンアラモード目当てに喫茶店に通っていた。そこには、文庫本を片手に珈琲を飲みながら意見を交わす学生さんやら、頑丈なリュックサックに重たそうな靴を履いた山男達がいた。山男。子供の私の目には、彼らの姿はとても大きくうつり、未知の世界を見せてくれる人達であった。私は、彼らの話を聞くのが好きだった。彼らは一様にやさしく、ちょっぴりテレ屋さんで暖かく、山の空の色やそこに在る草花、鳥の姿、声、雲の美しさを語ってくれた。そして、山の恐ろしさも。当たり前のようにそこに存在している山々が、もっと身近で、憧れとなっていたのは、この頃からであろう。

『大きくなったら山に登ってごらん。』

そんな私が、初めて経験した山登りは、中学二年生の燕岳登山である。学校行事としてのそれは、やはりとても大変で荷物が重たくて不安定で、道中、頑張っておしゃべりしても歌をうたってもぜんぜん楽しくなかった。なのに、それなのに、山小屋に到着して、めいっばい身体を伸ばし深呼吸した時のあの清らかな山の匂いと、そこから初めて見た圧倒される景色に胸が熱くなった。

ああ。なんて美しいんだろう。空気も景色も。

翌朝の素晴らしい透明な空の色は今でもハッキリ覚えている。

歳を重ねる度に、色褪せるどころか更に鮮やかになっていくもの達。愛して止まない松本。清らかな水、爽やかな風、大切な家族。豊かな自然。変わらずにそこに在る山々。

四季折々の景色は、過去から未来への贈り物となる。

たまたま帰りたい。大好きな故郷にまた会いに行こう。山の夏は本当に素敵なのだから。

第一回、山の日記念大会の開催地は唯一無二の日本が誇る『上高地』この清らかな神秘的場所。なんと嬉しいことだろう。

うん。また会いに行こう。



市毛 良枝  
俳優

## なぜかと聞かれれば…、すべて。

「山のどこが好きなのですか」と、よく質問される。

手芸が好き、空想が好き、本を読んでいればどこにも行く必要がなかった少女の頃。登山をやる自分の姿なんて想像することもなかった。縁などなかった山にどうしてあんなにはまったのだろうか。正直なところ答えは、「山のすべて」に尽きと思うが、求めに応じてとにかく答える。

単にスポーツでもない。でも肉体に負荷を加えるからこそ得られる喜びの占める割合は大きい。だからと言って辛いだけではなく楽しいから続けられる。そして、楽しさは多様だ。知的な刺激もあり、学問のように知識を増やす愉悅もある。内なる自分に語りかける哲学的な面もあり、時には宇宙や、神との対話も可能かと思える神秘もある。そしておのれの小ささを知る意味でも意義がある。大自然の圧倒的な迫力の元、人間の存在の小ささはただ頭を垂れるしかない。人間が地球で一番ではないと知るだけでも素晴らしい。

地道に愚直に一歩一歩踏みしめていく中で、辛いからこそ感覚は繊細に研ぎ澄まされ、森羅万象から受けた喜びが、こころの中で熟成し、ゆたかに自分を満たしてくれる。五感に訴えかけてくるあらゆる刺激を受け取り、その時々小さな達成感を重ねていくと、行けるとは思えなかったいただきにいつの間にかつく。そのすべてが山登りの魅力だと思っている。

偶然のように山に分け入ったおかげで、知らない世界を知ることができた。当時すでにずいぶん大人になっていたが、そこからすべてが動き始めた気がする。何だって、やろうと思えばやっていたらいいんだ。知らないことを知ることに年齢も職業も立場も関係ない。そう思えたおかげで、その後いくつもの未知の楽しみを知ったが、今も心動かされるものの筆頭には山がある。

もちろん、人生には色々な局面があり、登りたい山にやりたい方法でいつも行けるわけではない。日々の暮らしや仕事に加えて、近年は、介護という別の役割のため時間が取りにくくなっている。親も年を取る、自分もいつまでも若くはない。そんな中でも、できる範囲でできる楽しみを見つけてバランスを取る。その時にあった山を選んで、その時の自分らしい登り方をすれば、きっと山はそれなりの受け入れ方をしてくれる。大好きな登り方で好きな山に登れる時まで、力を蓄えて機会を待とう。いつでも準備は万端。そう思えばころはどこへでも飛んでいける。

## 式典行事の準備

### ■式典企画

#### 1 どのような式典行事にするのか？

式典行事を企画するにあたり、「山の日」の意義や制定に込められた想いを明確に表現できるプログラムが求められるため、以下(1)～(4)の手順を踏みました。

- (1) 式典の目的や性格・雰囲気などの「基本的な考え方」を定める
- (2) 「基本的な考え方」を表現するために必要な「コンセプト」を設定する
- (3) 表現を具現化する「演出計画」を立てる
- (4) 演出計画に沿った演出・出演者によるプログラムを組み立てる

また、上高地と松本市街地の2会場で2つの式典を行うことから、上高地での式典を「記念式典」、松本市街地での式典を「祝祭式典」として、それぞれ異なる趣と意味合いを持たせた式典行事として計画しました。

記念式典(上高地)	祝祭式典(まつもと市民芸術館)
基本的な考え方	
日本を代表する山岳景勝地である上高地の会場で「山に親しむ機会」をつくり、次代を担う子どもたちに「山に親しむ心」を継承します。	多くの参加者が訪れることのできる会場で、日常生活の中で受けている「山の恩恵」を見直す契機とします。
初めての山の日を迎えるにふさわしい、厳粛かつ品格のある式典とします。	「山」の恩恵を受ける人々が参加し、新たな祝日の誕生を華やかにお祝いする式典とします。
日本が世界に誇るべき財産である山の魅力や価値、そして先人が育んだ歴史・文化を国内外に発信していきます。	「山」に関する課題を参加者全員が共有し、人々が自発的に「山の未来」を創造し、若い世代へと引き継いでいきます。
式典・演出コンセプト	
「山に親しむ機会」を得る	「山の恩恵」に感謝する
「山の日」の制定を記念した第1回目の式典	「山の日」にともに集い、ともに祝う
美しく雄大な自然の中から、「山の日」の意義と「山」の魅力・価値を世界に向けて発信	「山」の未来を考え、未来につなぐ

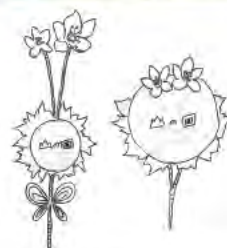


## 2 演出の検討

今大会の運営を中心となって支えるパートナー企業を選定するプロポーザルを実施し、4者(全て共同企業体)から提案をいただき、(株)ながのアド・ビューロ、電通東日本、電通テック、信濃毎日新聞社共同企業体に決定しました。パートナー企業の皆様には式典のコンセプトを的確に捉えつつ、技術的な裏付けのある提案をしていただきました。

### 【記念式典】

演出をストーリー立たせるためのテーマには“ニリンソウ”を選択しました。理由は、上高地を代表する植物のひとつであり、「友情」の花言葉から「山と人」の近い関係表現するにふさわしいものであるためです。このニリンソウを式典プログラムの様々な場面に登場させることで、山と人が一体となって「山に親しむ機会を得る」ことを目指しました。また、会場全体が咲き誇るニリンソウで満たされる演出として、参加者の皆様にニリンソウのコサージュを着装いただくことを考えましたが、国立公園の特別保護地区等にあたる上高地では、ニリンソウをはじめとする植物を採取することや外部から持ち込むことは禁止されています。それらを踏まえ、山に関係のある特別な素材と方法で“ニリンソウをつくる”ことにしました。



また、式典に関わる全ての方の服装については、山岳リゾート地の屋外で行われる式典で自然を肌で感じる事ができ、天候の変化への対応が可能な「山の服装」としました。

山の服装の目安	帽子	・帽子(着用は任意) ただし、式典中は脱帽を求める場合があるため、主催者からのアナウンスに沿っていただくこと
	上着	・長袖の屋外向けの素材のもの ただし、半袖(ポロシャツ等の襟付きのもの)も可とし、その場合、天候の変化に備え、中間着を用意することを推奨 ・雨具については、事務局で用意 ただし、ステージ上は雨除け用の屋根を付帯
	ズボン	男性は長ズボンを推奨 ただし、ひざ下の長さのハーフタイプのもも靴下をはくことで可(ひざ上の短パンは不可) 女性は長ズボンのほかスカートタイプのもものでも可 ただし、日焼け・虫よけ等の理由から肌の露出はできるだけ控えること
	靴	靴(歩きやすいスニーカー、トレッキングシューズなど)

※実際に登山はしないので、高機能である必要はない。式典会場には、安全面からストックの持ち込みはできない。

### 【祝祭式典】

「大勢の人々が集い、山の日をともに祝う」ことを実現するため、屋内会場であることを十二分に活かし、プログラムの各所でステージ背景に設置する大型スクリーンを効果的に使用することで、会場全体の一体感を形成します。また「山の恩恵を見つめ直し、感謝する気持ち」を全ての人々が持ち続けられるよう、身近な「山の恩恵」を舞台上の様々な演出で表現することとしました。



## 3 プログラム企画

### 【式典オープニング映像】

式典では、プログラムのオープニングを飾る映像を上映することにしました。開催地である長野県松本市上高地に関連し、山の「四季」「歴史」「恩恵と日々の営み」を表現する映像で「山の魅力・価値」を見つめ直し、いただこうと考えました。

各式典のコンセプトを踏まえ、記念式典の映像では「四季」と「歴史」を、祝祭式典の映像では「恩恵と日々の営み」を表現することになりました。

こうして[四季と歴史]編、[日々の営み]編の骨組みができあがり、これらを元にして「さあ山へいこう」「山の恵みに生かされて」の2作品が完成しました。



季節と歴史編 恩恵と日々の営み編

### 【「山の日」制定記念音楽演奏(記念式典)】

初めて迎える「山の日」。記念すべき日の礼節に相応しく、品格高い厳粛な式典の雰囲気につつましい演出を検討する中で、山と音楽の関係に着目しました。文芸、美術、音楽、総合芸術などのあらゆる芸術分野において、時に題材として、時に創作活動の場として山は芸術家を魅了してきました。

開催地である松本市は、西に「日本の屋根」と称される北アルプス、東に美ヶ原の台地を擁する「岳都」です。また、サイトウ・キネン・オーケストラが主体となり世界的指揮者である小澤征爾氏が総監督を務めるセイジ・オザワ松本フェスティバルが毎年開催され、音楽による幼児の才能教育「スズキ・メソード」発祥の地であるなど、「楽都・松本」を標榜するほどに音楽活動が盛んです。

このことから、音楽ほど記念式典を彩るのに相応しいものはないと考え、8月に開催を控えたセイジ・オザワ松本フェスティバルに協力を依頼し、式典での演奏が実現しました。

### 【山に寄せるメッセージ(記念式典)】

故郷の「山」に想いを馳せたり、「山」に特別な想い出があったり、高い「山」に登ることが楽しかったり、「山」に寄せる想いは千差万別です。

誰もが持つ「山への想い」を日本、そして世界へと発信したい。例えば、様々な分野で活躍されている方々は山についてどのような想いを抱いているのだろうか?と考えました。

企画の初期段階ではなるべく多くの方の想いを伺いたいと思いましたが、限られた時間であることから、日本を代表し長野県や松本市に縁のある3名の著名人に語っていただくことになりました。



### 【大会宣言(記念式典)】

記念式典では、「山の日」制定を機に山と人の関係を見つめ直し、「山に親しみ、山の恩恵に感謝する」姿勢を示す第1回大会の宣言を行うことにしました。

内容は、全ての人理解でき、子どもたちにも親しまれるもの、栄える第1回記念大会の宣言として格調の高いもの、山の国信州・岳都松本から国内外に発信するメッセージ性の強いものにしようと考えました。

宣言文の起草委員として信州大学理学部教授の鈴木啓助さん、県立長野図書館長の平賀研也さん、(一財)全国山の日協議会監事の成川隆顕さんに御協力をいただき、文言の検討などをしていただきました。

最終的には、山の日制定の喜びを表す「序文」、山と人の繋がりを明らかにする「山と人の繋がりの証 ニリンソウ〜花言葉「友情」〜」、そして核となる「宣言」の3パート構成としました。

### 【祝祭演目(祝祭式典)】

“より多くの人たちとともに山の日を祝い、より多くの人たちに山の恩恵を伝えたい”。この思いを伝えるために考え出したのは“複数の演出の組み合わせによる山の恩恵の多様な表現”でした。

様々な演出が考えられましたが、キーワードである「華やかに祝う」「山の恩恵を感じる」「未来へ繋ぐ」を表現する方法として、それぞれ「舞踏(パレエ)」「スピーチ」「子どもたちによる合唱」が相応しいと考え、企画を進めていきました。

#### ○舞踏(パレエ)

松本市出身で世界的にも有名なパレエダンサーである二山治雄さんが所属する白鳥パレエ学園に依頼し、同学園に所属する33名の男性・女性及び子どもダンサーによる華やかな舞台が実現しました。

#### ○スピーチ

「山の恩恵」への感謝や気づきを表現する方法を考えていましたが、これを直接的に訴えることが出来る演出として、大会ロゴマークにある「木」「川」「花」「鳥」「蝶」「人(親子)」の各モチーフに関わる活動がされている方々に舞台上で端的な表現によるスピーチをしていただくことを企画しました。

#### ○子どもたちによる合唱

山と人の関係を歌に託し未来へと繋げていく演出、特に子どもたちを中心に構成する考えは早い段階からありました。アーティストによるリードやコラボレーションなども考えられましたが、何よりも“山に住み、山とともに生きる子どもたち”が歌う「山の歌」が最もメッセージ性の強いものであると考えました。

“山の歌”の選曲は、(一財)全国山の日協議会が募集した「山の日」の歌の詞・曲を発表前に提供していただきました。出演は松本市の波田少年少女合唱団に1カ月間の練習期間を割いていただき、企画が実現に至りました。

### 【リレーセレモニー(祝祭式典)】

今年以降は、毎年8月11日に必ず「山の日」がやってきます。山の日を迎える大会は今後、日本全国各地で開催されます。「山の日と、第1回記念全国大会で掲げた大会理念を、次期開催地とその先の更なる未来へと引き継ぎたい」との思いから企画の検討に入りました。

検討中に議論となったのは、“バトン”の役割を何に託すか?ということでした。

「山の象徴」。例えばピッケルやケルンなどの候補が上がりましたが、

#### ○より広く一般的に山を想起させるもの

#### ○リレーするうえで扱いやすい簡易なもの

#### ○登山や山仕事に不可欠で、国内外共通の山に関連するもの

を踏まえて検討を進めた結果、「帽子」に行き着き、「山の日」を象徴する特別な帽子の制作にとりかかりました。また、帽子にはリレーする先々の開催地ごとに開催の証である「バッジ」を付けることにしました。

### 【エピローグ(祝祭式典)】

「山の日」当日の午後に開催する祝祭式典は今大会行事の大トリであり、そのエピローグは大会のグランドフィナーレでもあります。

悩ましいのは「どのような雰囲気ですぐ最後を迎えるのか」です。初めての「山の日」は盛大でにぎやかな形で終わるのか、はたまた大会期間の2日間を振り返りながら未来への想いを馳せつつ静かに終わりを迎えるのか…

大会の余韻を楽しんでいただくためにエピローグの時間を長くすることについては意見が一致しており、その時間の中で盛り上がり静けさのバランスをとり、それぞれの場面にふさわしい演目とすることで決着しました。

盛り上がりの部分は「奈川獅子」で式典行事の華やかさと勢いをそのままに、祭りの雰囲気を醸し出す。

静けさの部分は山への感謝と山の日誕生を祝うメッセージを背景に「スズキ・メソードの演奏」で優雅に。

グランドフィナーレは会場が静まり返る中での「山鐘」…

初めての「山の日」。その有終の美を飾るシーンが次第に見えてきました。

## ■式典会場の選定

式典会場は、記念式典会場を「上高地」、祝祭式典会場を「松本市街地」として、それぞれ具体的な会場候補地の選定作業を進めていきました。

### 1 記念式典

「山と親しむ機会を具現化する」ことを実現する屋外会場であること、参加者の警備・輸送面の安全が確保できる場所、世界に向けて「山の日」を発信するにふさわしい会場設備・式典規模を確保できる場所であり、一般の観光客や登山者への影響を考慮することが求められました。

上高地バスターミナル駐車場・小梨平キャンプ場・徳沢キャンプ場の3か所を候補地として、前記の条件で比較検討を行った結果、全ての条件を満たす「上高地バスターミナル駐車場」に特設会場を設営することに決定しました。

#### 【上高地バスターミナル駐車場(記念式典会場選定地)】

自家用車による乗り入れが禁止されているカーレスリゾート上高地。上高地に至る交通手段はバス・タクシーのいずれかのみ(許可車両を除く)であり、その終着点が高標1,500mにある上高地バスターミナル駐車場です。豊かな自然に囲まれ、鳥のさえずりや木々のさざめきに包まれるこの場所は、観光ピーク時には最大1万人以上/日の観光客が行き交う一大ターミナルとなります。

記念式典の会場として決定した後、400名規模の参加者を収容するための会場設営プランの検討が始まりました。レイアウト検討に際しては、以下が要点となりました。

- どの角度からでも上高地の山々を望め、自然を感じられること
- 警備上、周囲にフェンス等を設け会場の内外を完全に区切ること
- 観光のハイシーズンのため、バスターミナルの機能を維持し、式典前後はバスの通常運行を可能とすること
- 雨天時・緊急時の対応がとれること



設営に当たっては、上高地を所管する環境省、バスターミナルを管理する一般財団法人自然公園財団、アルピコ交通株式会社をはじめとする上高地に乗り入れている交通事業者並びに東京医科大学上高地診療所をはじめとする周辺施設に多大なるご理解とご協力をいただき、また幸いにも準備期間～大会当日が観光バス規制期間中であったことから、設置から撤去までを滞りなく行うことができました。

**■11日(木) 記念式典大会 式典会場設営作業**

項目	会場1	会場2	会場3	会場4	会場5	会場6	会場7	会場8	会場9	会場10	会場11	会場12	会場13	会場14	会場15	会場16	会場17	会場18	会場19	会場20	
式典																					
式典準備																					
式典撤去																					

※会場1～会場20は、会場1～会場20の順に設営・撤去作業を行います。

**■11日(木) 記念式典大会 式典会場設営工程計画図**

#### 【小梨平キャンプ場(会場候補地)】

河童橋に程近い、上高地の大自然を満喫できる静寂の小梨平。梓川沿いの穂高連峰を望むことができる広場は、2014年まで30年間にわたり続いた「上高地音楽祭」や、今大会の「信州四方山祭in上高地」の舞台となりました。



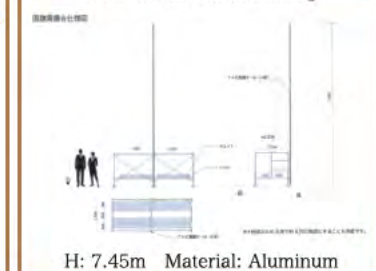
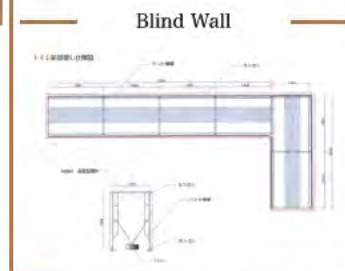
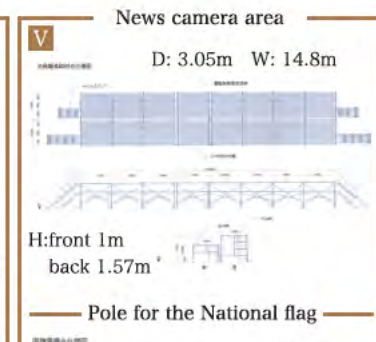
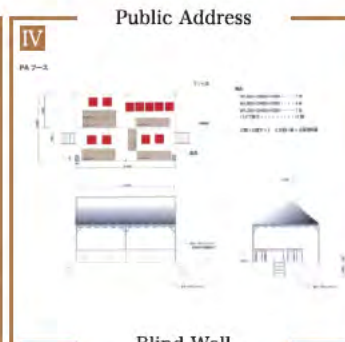
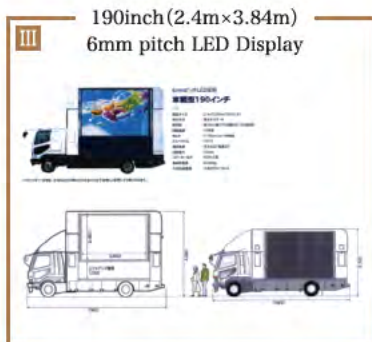
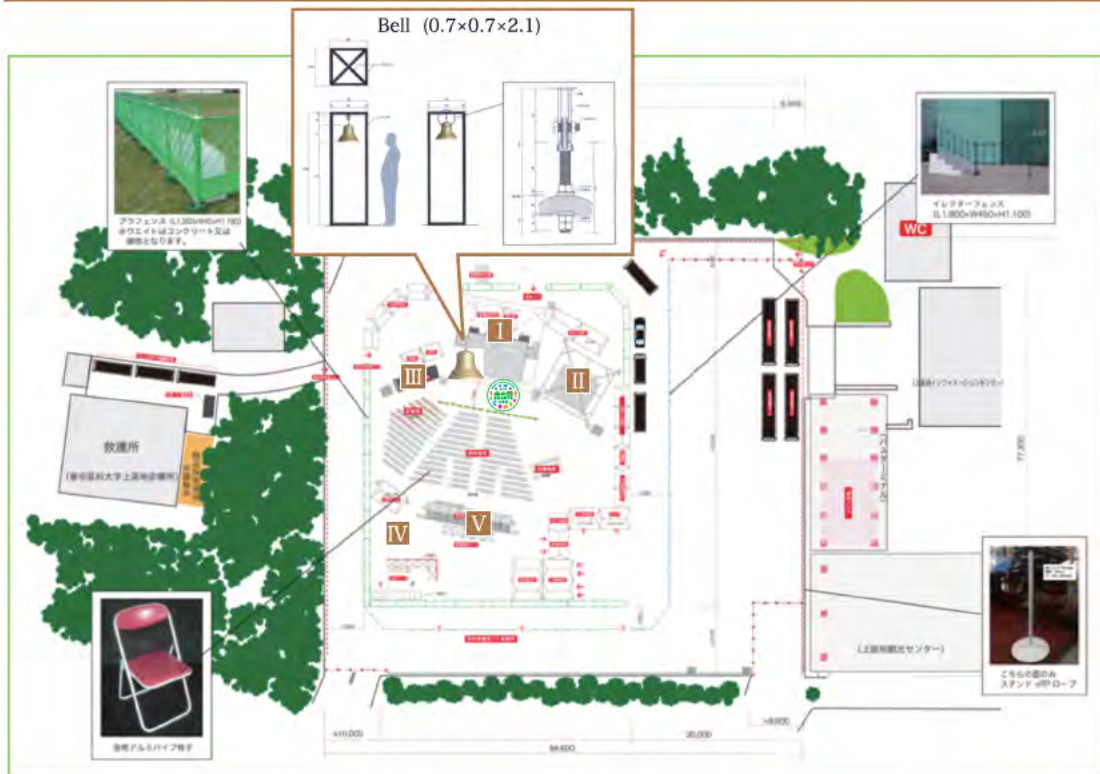
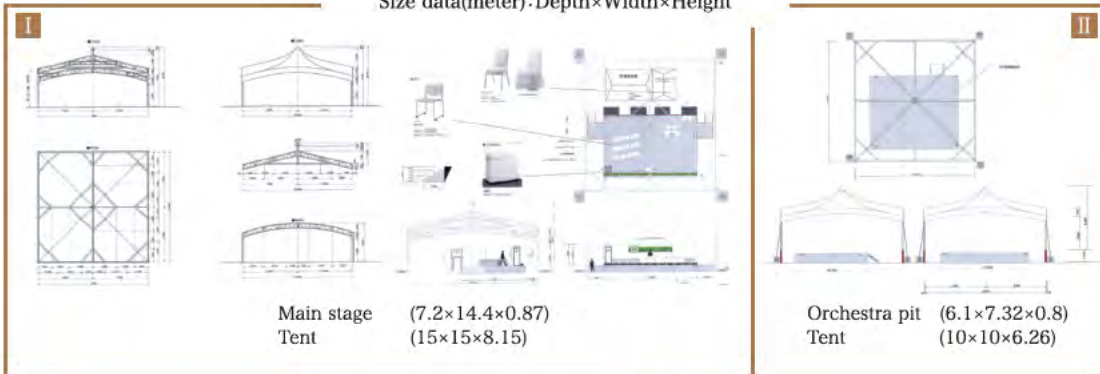
#### 【徳沢キャンプ場(会場候補地)】

かつては牧場であった徳沢は、現在広々とした草原のキャンプ場となっています。槍ヶ岳、涸沢、穂高への登山出発地でもあり、眼前には「ナイロンザイル事件」とそれを題材にした井上靖の小説「氷壁」の舞台になった「前穂高東壁」が聳えます。



# Ceremony Venue in Kamikochi

Size data(meter):Depth×Width×Height





## 2 祝祭式典

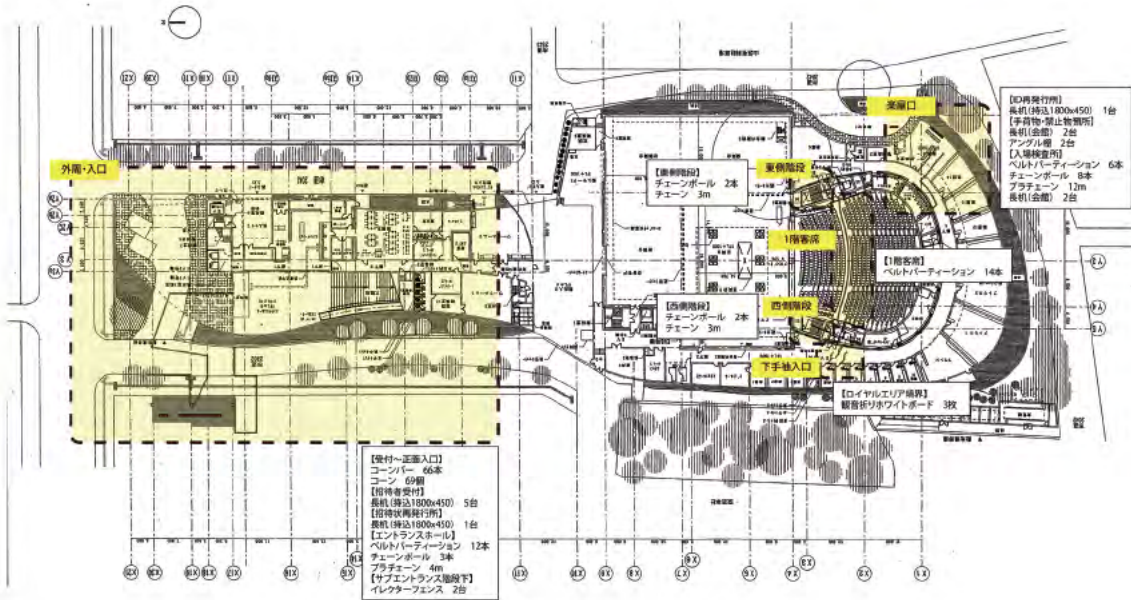
「華やかな雰囲気の中で、多くの参加者と山の日の制定を盛大に祝い、山の恩恵に感謝する」ことを実現し、荒天時でも確実に式典行事を執り行うことができる屋内の会場であることが求められました。

検討の結果、松本市が誇る芸術拠点であり、最大客席数1,800席の馬蹄型主ホールを擁する「まつもと市民芸術館」を会場として決定しました。

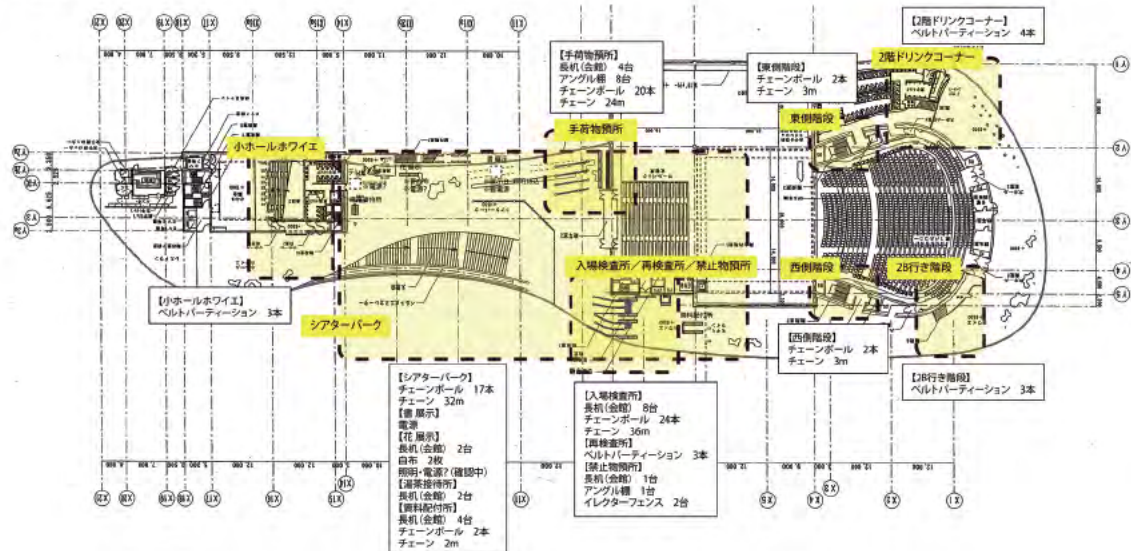
### Ceremony Venue located in the city



#### ◆1階

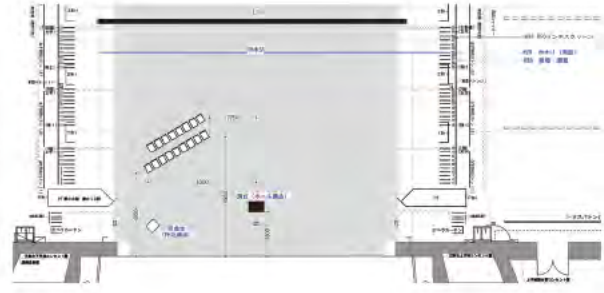


#### ◆2階



◆ステージ立面図

[式典時]



[アトラクション時]

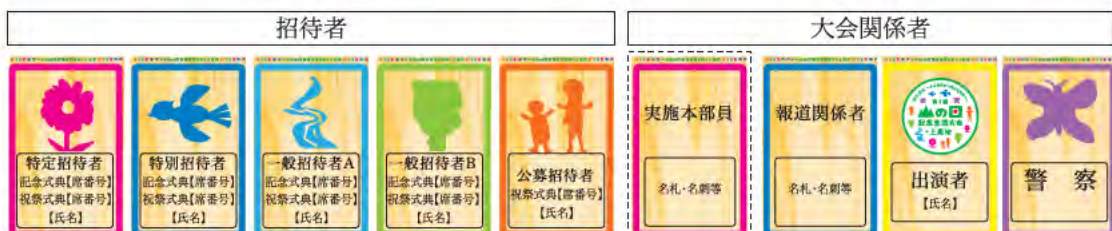


■IDカードの発行

出席者をはじめとする大会関係者の皆様にお配りしたのが「IDカード」です。これは、大会関係者の目印であると同時に、歓迎レセプション・記念式典・祝祭式典の各会場への入場パスとなっており、警備の目印にもなりました。これらの会場は5段階の警備レベル(IDレベルによる色分け)でゾーニングされ、警備スタッフはIDカードの色とモチーフ柄で立入可能エリアと立入禁止エリアを判別しました。

◆ID区分一覧

IDカード				進入可能エリアレベル				
分類	主な発行対象者	モチーフ	色	5	4	3	2	1
レベル5	式典JV(一部)	-	赤	○	○	○	○	○
	実施本部員(一部)			○	○	○	○	○
レベル5	警察	蝶	紫	○	○	○	○	○
レベル4	特定招待者	花	ピンク	×	○	○	○	○
	登壇者			×	○	○	○	○
	主催者			×	○	○	○	○
	実施本部員			×	○	○	○	○
	会場管理者			×	○	○	○	○
レベル4	式典JV	-	-	×	○	○	○	○
レベル4	出演者	ロゴ	黄	×	○	○	○	○
レベル3	特別招待者	鳥	青	×	×	○	○	○
	報道関係者	-		×	×	○	○	○
	視察員	-		×	×	○	○	○
レベル3	一般招待者A	川	水色	×	×	○	○	○
レベル2	一般招待者B	木	緑	×	×	×	○	○
レベル1	公募招待者	人	橙	×	×	×	×	○



実施本部員・協力員(ピンク色モチーフ無し)

## 大会への招待者の宿泊

記念式典は、山岳リゾート地上高地内で行うため、式典とあわせて、上高地の自然環境を満喫していただくため、多くの出席者に前日からお泊りいただきました。また、8月10日～11日にかけて出演機会や業務のある大会関係者(スタッフ)も、上高地内の宿泊施設に宿泊しました。

大会招待者の宿泊は、上高地観光旅館組合の全面的な協力を得て、主に大正池から河童橋地区の宿泊施設が、大会提携料金を設定して担いました。また、山岳関係の多くの招待者は、日本山岳会の上高地山岳研究所や日本山岳ガイド協会のアルプス山荘等の研修施設にも多く宿泊されました。その他、大会スタッフ、出演者、関係者は、中の湯や徳沢地区及び、松本市街地のホテル等の宿泊施設にも宿泊しました。

### ■宿泊施設との調整経過

- 平成27年11月 上高地町会、上高地観光旅館組合打合せ  
大会時にかなりの宿泊需要が生ずる見込みから、大会関係者の優先的な宿泊について協力を調整をいただくよう依頼
- 12月 「大会に関わる協力部屋数等の調べ」(ヒアリングシート)の依頼  
大正池～河童橋地区の施設について、協力部屋数等料金等の項目を調査するヒアリングシートを配布及び、松本市街地のホテル等と宿泊調整開始
- 平成28年 1月 ヒアリングシートの取りまとめ  
すべての施設で大会前日の8月10日については、ほぼ全室に近い宿泊協力を確認
- 4月 招待者の段階的な調整・宿泊計画の検討
- 5月 大会に際しての統一的な提携宿泊料(S～D)の決定と協力部屋数に関する最終調整、宿泊計画の策定

<提携宿泊料のランク>

記号	提携宿泊料	1人1室利用追加料金
S	30,000円～40,000円	10,000円
A	30,000円	6,000円
B	25,000円	5,000円
C	20,000円	4,000円
D	15,000円	3,000円

・2名以上1室に宿泊、1泊2食付、税・サービス料込み料金、1室に1名で宿泊の場合は、1人1室利用追加料金を加算

- 6月 招待者へ大会案内状送付。希望等に基づく宿泊施設との調整開始
- 7月 宿泊施設との宿泊部屋数の最終調整(宿泊希望とのマッチング)
- 8月 宿泊施設への個別訪問による打合せ。大会運営スタッフの宿泊打合せ。

### ■大会関係者(式典招待者・出演者・スタッフ)の宿泊状況

宿泊施設数	8月9日(火)	8月10日(水)	8月11日(木)
	宿泊室数	宿泊室数	宿泊室数
13施設	16	288	9

※大会提携宿泊施設の大会関係者宿泊室数

### ■宿泊者への接遇等

上高地での宿泊に万全を期すため、大会前日から上高地内では、到着から各施設までを案内する接遇係を配置し、招待者の対応にあたりました。大会招待者が宿泊する施設には、宿泊招待係の大会スタッフによる専用案内デスクを置き、大会の案内や、式典会場への入場IDカードの発行等を行いました。また、招待者への大会記念品(お土産)は、あらかじめ各施設に搬入し、施設の協力を得ながら、各宿泊者の部屋に事前に用意しました。

### <ご協力いただいた宿泊施設>

[上高地観光旅館組合]坂巻温泉旅館、中の湯温泉旅館、大正池ホテル、上高地帝国ホテル、上高地温泉ホテル、上高地ルミエスタホテル、上高地アルペンホテル、上高地西糸屋山荘、五千尺ロッヂ、五千尺ホテル、ホテル白樺荘、明神館、山のひだや、嘉門次小屋、徳沢ロッヂ、氷壁の宿 徳澤園、日本アルプス観光 森のリゾート小梨  
[その他]ホテルブエナビスタ、松本東急REIホテル、松本ホテル花月、ホテルモンターニュ松本、ホテル翔峰

## 輸送体制の整備

～片道約50km、所要2時間の登山計画～

今大会の開催地となる上高地は通年のマイカー規制に加え、大会期間中はバス規制も行われていることから、大会参加者の円滑な移動を図るための輸送体制を検討しました。アルピコ交通株式会社と連携して松本市街地から上高地までの輸送プランを策定し、来場者の円滑で安全な輸送に努めました。

### ■輸送

#### 1 輸送計画・課題

大会期間中の行事出席者などの輸送方法と、大会関係車両の駐車場の確保等について検討し、輸送における課題が明らかになりました。

##### (1) 輸送行程

輸送を必要とする出席者が関係する大会行事は、8月10日の歓迎レセプション、8月11日の記念式典及び祝祭式典であり、「松本市街地～上高地」の長距離往復行程となる。

##### (2) 上高地公園線の通行

上高地に至る上高地公園線は通行可能な時間帯(8月は5時～20時)があるため、その時間内に通行する必要がある。

##### (3) バスの駐車場、すれ違い及び転回場所の確保

バスで輸送することを想定し、乗降場所と乗り換え場所、待機中の駐車場をどこに設けるか？

##### (4) 輸送規模

上高地公園線通行許可車等により個別に上高地へ入る出席者も想定され、バスの必要台数とバス以外の車両台数算出のため、全体の出席者規模と出席者の交通手段の把握が必要。

特に(1)については、片道約50km所要2時間の行程となり、(2)と合わせて式典行事等の開始・終了時刻を踏まえた検討が必要となりました。また、(3)については駐車場所や車両すれ違いのための待機場所及び転回可能な場所をピックアップする作業から始めることになりました。(4)については、招待者・参加者がおおよそ決まった段階で車両種類及び台数を推定することとしました。

[国道158号線]



#### 2 輸送行程

輸送行程は、行事出席者、出演者、大会スタッフ、大会主催者などに分けて属人的に検討し、それぞれの行程に適切な出発地・中継所・休憩所・到着地を設けました。

いずれの行程においても、10日の往路(レセプション・前日リハーサル)、11日の復路(式典当日)ともに一般車両による道路混雑等のリスクを想定し、移動時間が最短となる国道158号線をメインルートとしました。

また、メインルートが通行止めとなった場合など、不測の事態に備えたバックアップとして、上高地～高山駅(岐阜県高山市)ルートと、上高地～木祖村～伊那ルートの2つを想定していました。



[バックアップルート]

<b>上高地～高山駅</b>	
・上高地バスターミナル - 平瀬料金所	約12km 約25分
・平瀬料金所 - 町方交差点	約28km 約35分
・町方交差点 - 高山駅	約7km 約15分
計 約47km 約1時間10分	
<b>上高地～木祖村～伊那IC</b>	
・上高地バスターミナル - 沢渡バスターミナル	約14km 約25分
・沢渡バスターミナル - 奈川渡ダム	約8km 約13分
・奈川渡ダム - 奈川支所	約7km 約11分
・奈川支所 - 木祖村役場	約23km 約30分
・木祖村役場 - 伊那IC	約26km 約37分
計 約78km 約2時間	

更に、招待者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行、万一の事態に備え、長野県警等関係機関の協力を得た交通整理、交通規制についても検討しました。

3 上高地公園線の通行

輸送用バス以外の警察車両、大会運営協力会社の車両など多数の大会関係車両が通行することの影響は大きく、通行車両のルール化が必要でした。対策として、大会関係車両の証である通行券を発行することとし、大会に関係する全ての車両について車種・ナンバーなどの報告を求めました。



上高地内では自動車等の乗入れ規制のルールを重んじ、移動は徒歩を原則とし、歩行者の安全確保のための対策を徹底しました。ただし、招待者のうち警護を要する等の特別な事情がある場合は、警察と調整のうえ会場近くの宿泊施設を優先的に確保するとともに、上高地バスターミナル駐車場までの専用車による輸送を行いました。徒歩移動の招待者には、安全かつ快適に移動していただくため、会場や大会スケジュール等を総合的に案内できるコンシェルジュを上高地内の複数地点に配置しました。

4 駐車場、すれ違い及び転回場所の確保

現地調査による情報収集の結果、特に上高地内においては大会関係車両の台数と比べ、駐車可能なスペースがごく限られており、北アルプス山小屋友交会や上高地集団施設区内の各機関に依頼し、長期間にわたり駐車スペースを無料で貸していただくなど、駐車必要台数を踏まえた駐車場の確保に努めるとともに、不足する分については大正池右岸に臨時駐車場を設置し、上高地バスターミナル駐車場との間について大会関係者をピストン輸送しました。



臨時駐車場

招待者駐車場

関係者駐車場

スタッフ駐車場

また、上高地トンネルが開通した7月19日まで道路として使用されていた旧道スペースを、バスの待機場所として活用することとしました。これにより、バスと他の車両のすれ違いができるだけでなく、輸送専用バスを発車時刻まで待機させることも可能になりました。

※建設中のトンネル左に見える道路が、現在旧道となっている。



バスの転回については、通常路線バスなどは上高地バスターミナル駐車場内を走行して方向転換しています。上高地バスターミナル駐車場内での路線バスの通行を可能とする記念式典会場設計を行うなどの対策を行いました。開催前後の時間帯はターミナル内に車両が進入できなくなってしまう。

バスターミナルに乗り入れているアルピコ交通株式会社、濃飛乗合自動車（濃飛バス）及び上高地タクシー運営協議会に対し会場設営期間中及び記念式典当日の運行ダイヤ等について検討を依頼し、バスターミナル駐車場内の駐車場の制限、ターミナル機能の移転、開催前後を含めた式典時間中の運行停止などの御協力をいただきました。



また、一般財団法人自然公園財団上高地支部には上高地バスターミナル駐車場及び周辺での交通整理に御協力をいただきました。

なお、祝祭式典出席のため8月11日に上高地から松本市民芸術館へ移動する出席者の車両（専用車等）と主催者の車両（主催者専用バス等）、大会協力関係車両（トラック等）は、市営南源池駐車場へ駐車することとしました。一般公募参加者については公共交通機関の利用を呼び掛けるとともに、自家用車利用の場合は付近の駐車場を利用していただくこととしました。



## 5 輸送規模

式典のプログラムや出席者がおおよそ整った段階で、最初に出演者や警護対象の出席者、各国大使館の方々、報道関係者などの招待者バスを利用しない方の人数や招待者バス以外の車両台数が明らかとなりました。

各国大使館関係者や一部出演者の輸送にはタクシーをチャーターして対応し、出演者については招待者バスとは別の運行スケジュールを組んだバスで輸送しました。招待者バス以外の車両についても大会関係車両通行証を発行し、駐車場の割り当てや発車・到着時刻の把握などを行いました。

- 大型バス 延べ33台（招待者、出演者、スタッフなど）
- タクシー 延べ12台（各国大使館、出演者（一部））
- その他 大会協力関係車両（警察、運営・会場設営作業、中継放送）など多数

## 6 運行管理体制

輸送バスの運行管理、大会関係車両の乗降所における誘導、駐車場管理を担う「輸送管理班」「バス輸送班」「駐車場班」の3班からなる「輸送管理部」を設け、運行状況の管理、緊急時対応を行うこととしました。

また、株式会社JTB中部松本支店に輸送ディレクター及びスタッフとして運行管理体制の中に入れていただきました。

### ○輸送管理班

安全で円滑な運行体制を実現するため、班員を乗降場、駐車場、輸送ルート上に設けたチェックポイント・休憩所などに配置し、携帯電話等による連絡体制を確保しました。

また、車両乗降所係・招待者接遇本部接遇班が担当するバス添乗員と連携し、輸送車両の出発・到着情報を共有するなど、車両運行状況を常に把握していました。

### ○バス輸送班

JR松本駅乗降所、県松本合同庁舎乗降所、上高地バスターミナル、大正池右岸臨時駐車場、風穴の里休憩所の5か所に分かれ、招待者等の誘導、他班との連絡調整、乗降者数の確認、休憩所での案内などを行いました。

### ○駐車場班

県松本合同庁舎駐車場、国道19号線平瀬口スタッフ用駐車場、上高地バスターミナル駐車場、大正池右岸臨時駐車場の4か所に分かれ、車両の誘導、駐車場の車両整理・車両リスト管理を行いました。

## 地域対応活動

### ■ 背景

「山の日」(8月11日)は子供たちの夏休み期間中であり、かつ、お盆前の時期となるため、交通機関等が混み合う時期で長野県でも夏山シーズンの佳境に入り多くの人でにぎわいます。記念式典を開催することにより、国道158号、市街地、高速道路等への影響が想定されたため、道路交通等の関係者と地域対応の検討を行いました。

### ■ 地域対応計画

まず実施計画において、大会開催による交通渋滞等に伴う地域住民・観光業者・観光客等への影響を低減するため、地域対応に関する方針を定め、あらかじめ大会に関する情報発信及び地域住民への説明を行うとともに、事前の交通渋滞予測等の案内を行うこととしました。また、大会期間中は実施本部(松本市安曇支所内)に総合情報管理部を設け、情報発信体制を整備しました。

### ■ 事前対応

3月23日に安曇地区町会長連合会役員会で基本計画の説明を行い、6月24日付けで上高地観光旅館組合に国道158号等の渋滞発生予想の協力を依頼するとともに、7月から大会専用HPに交通情報を掲載しました。7月19日には上高地トンネルが開通し、より安全・安心な通行が可能となりました。7月23日には警察本部と合同で、地元町会及び交通関係者等24者を対象に説明会を開催するとともに各町会への渋滞予測チラシの回覧を行い、7月26日には大会2週間前となることから渋滞案内チラシを観光案内所や隣接市町村窓口等に設置しました。

チラシの配布にあたっては、地元町会、地域の観光旅館組合、アルピコ交通(株)、新穂高ロープウェイ等に御協力いただきました。大会10日前となる8月1日からは観光客向けに情報発信を行うため、国道158号等56箇所に交通案内看板を設置しました。看板設置には沢渡町会、国土交通省長野国道事務所、環境省松本自然環境事務所、岐阜県土木事務所、松本建設事務所等に御協力いただきました。松本建設事務所では、国道158号等の重点的な修繕(舗装・橋梁塗装等)を行うとともに道路パトロールを強化し環境美化等にも取り組みました。



上高地トンネル竣工式



交通渋滞予測チラシ

### ■ 期間中対応

式典行事や交通等の情報を適時に発信することを目的に、松本市安曇支所内に23名体制の総合情報管理部を設置し、支所班と沢渡バスターミナル班とで役割分担をしました。支所では電話等により情報発信と一般からの問合せ等に対応しました。道路情報は(公財)日本道路情報交通センター長野センター、JA松本ハイランド農業協同組合波田スタンド、アルピコ交通(株)新島々営業所、松本建設事務所道路気象情報カメラ、斐太石油(株)平湯給油所及びNTT東日本バイク隊の協力により、国道158号沿線等8箇所に道路情報確認地点を設け、30分毎に情報収集し、大会専用ホームページで提供しました。また市民等からの問合せに対しては、支所スタッフが24時間体制で対応し、期間中に81件の問合せがあり、式典行事の内容関係が23件、報道機関からの取材関係及び道路情報関係が各々17件でした。問合せ等に対しては、実施本部の各式典行事等責任者と情報共有し対応しました。

沢渡バスターミナルでは協賛企業である中日本エクス(株)と共同で交通案内ブースを設置し、駐車場利用者等に同社作成のチラシ配布等を行いました。この他、松本建設事務所でも道路パトロール隊を編成し、国道158号等の道路情報の把握を行い、上高地では緊急事態に備えて職員が常駐しました。なお、支所では、台風等の荒天時や交通事故による規制等の緊急時の体制として、実行委員会構成員、道路管理者、交通事業者、地元町会、各種団体等と情報共有網を整備していましたが、幸いにも好天に恵まれたため、通常の体制で臨むことができました。総じて、関係する皆様の御協力により、道路状況も大きな渋滞発生はなく、安全的確に地域対応を行うことができました。一方で、先例のない取組であったため、事前準備の段階から式典行事の内容等の関係者間での情報共有に時間を要したことが課題としてあげられ、今後の取組に活かしていく必要があると考えています。



中日本エクス(株) 配布チラシ



交通案内看板の掲示

## 実施本部体制

- 第1回「山の日」記念全国大会を通じた本部運営協力者は全部で785名に上り、長野県や松本市職員の他、上高地観光旅館組合、日本山岳会信濃支部、長野県山岳協会、上高地ネイチャーガイド協議会、NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ、東京医科大学上高地診療所、中部森林管理局中信森林管理署、株式会社長野銀行、損保ジャパン日本興亜株式会社、松本広域消防局から協力を頂きました。大会期間中である8月10日、11日の2日間では740名、延べ1,356名(10日674名、11日682名)の方々にご協力を頂きました。
- 長野県では関連する10部局による庁内連絡会議を組織し、松本市では全庁的な16部局による庁内連絡会議を組織して、大会運営への協力を仰ぎました。結果、長野県と松本市からは、双方で670名もの職員にご協力を頂きました。
- 大会運営にあたっては、7月22日に長野県松本合同庁舎講堂において、責任者となる大会統括本部の班長、係長による研修を行いました。その後、必要な部署において7月25日～8月9日までの間において個別研修や打合せが行われ、本番前日となる8月10日には全体リハーサルを上高地会場(上高地パスターミナル)と松本会場(まつもと市民芸術館)で行いました。
- 実施本部員は、一見してスタッフと分かるよう、株式会社finetrack(600着)と株式会社モンベル(400着)より提供を頂き、行動しやすいアウトドアスタイルでスタッフウェアを揃えました。主として屋外で従事するスタッフには、夏の強い日差しを考慮し吸汗蒸散性を備えたfinetrackのドラウトフォースジップネック(長袖)を採用しました。男性はライムグリーン、女性はパステルブルーのカラーで統一しました。一方、主として屋内で従事するスタッフには、カジュアルな雰囲気を出すモンベルの半袖ウェアで統一しました。男性はインクブルーのWICライトシングルポケットハーフスリーブシャツ、女性はエバーグリーンのWICライトハーフスリーブシャツを採用しました。なお、双方のスタッフウェアの左腕には、山の日ロゴマークをプリントしました。
- 大会当日は、事前の情報提供等が少なく十分な研修が行えなかったにも関わらず、それぞれの部署において各自が自主的に的確な対応を取っていただいたおかげで、2日間を大過なく成功裏に終えることができました。なお、長野県及び松本市職員以外のスタッフに対しては傷害保険を掛け、不測の事態に備えましたが、2日間ともスタッフに怪我等はありませんでした。

【本部別人員数】

組織名	人数
上高地会場 統括本部	205名
松本会場 統括本部	292名
招待接遇 統括本部	84名
輸送管理 統括本部	121名
大使館 統括本部	11名
総合情報管理 統括本部	9名
国際会議 統括本部	18名
合計	740名



- 今大会の招待者・協力者・出演者の皆様と、運営スタッフ用の弁当2種類を特注することにしました。製造は、協賛企業である株式会社王滝をお願いし、信州の食材をふんだんに使った彩り豊かなお弁当ができあがりました。



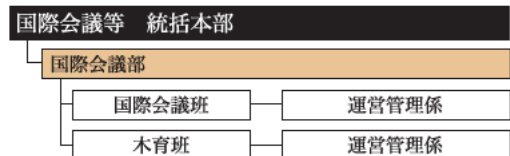
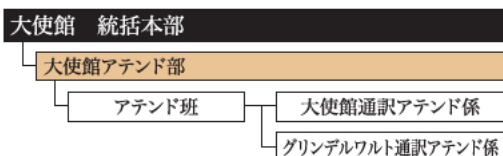
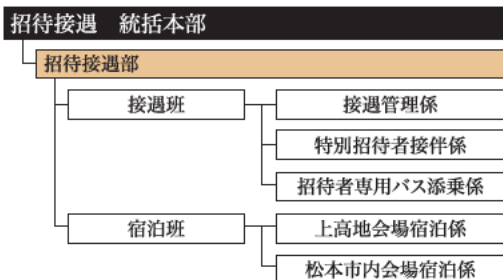
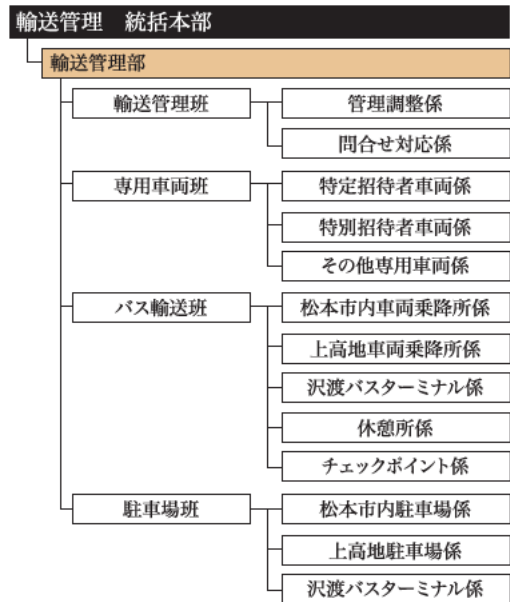
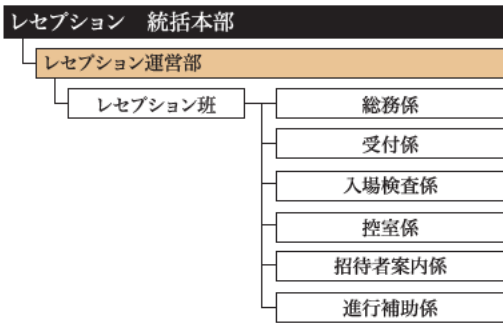
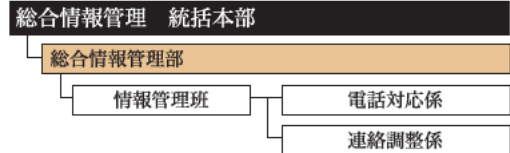
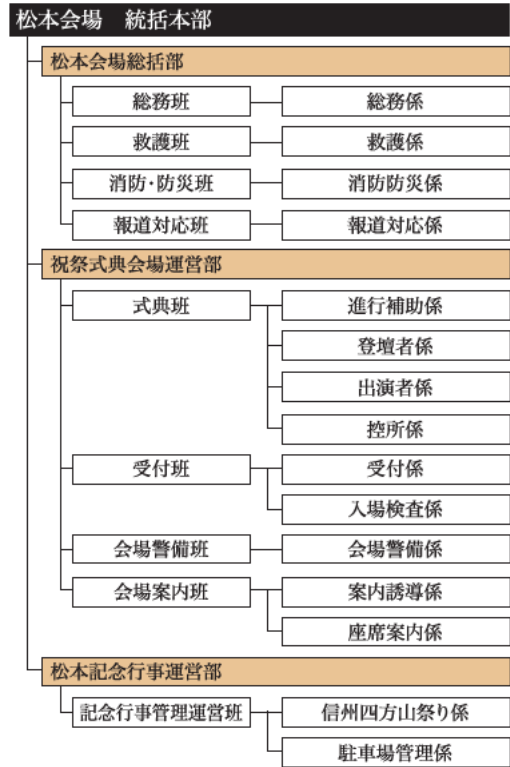
山の日弁当  
幕の内風の贅沢な品揃え  
1,500円(税込) 441食



スタッフ弁当  
松本名物山賊焼き入りでボリューム満点  
700円(税込) 1,447食



# 第1回「山の日」記念全国大会実施本部体制



実施本部体制名簿

青木伸治	岩下伸也	小原稔	倉島由花	酒井謙一
青木豊夫	岩垂宏直	帯刀莉奈	倉橋慶成	酒井貴篤
青木裕理江	岩垂まど香	小淵登紀子	倉本栄	酒井哲也
青木則裕	岩塚伸人	折井克壽	倉本珠弥	坂上暢慶
青木竜一郎	上角友記	笠井浩	栗岩春彦	坂下広
青島雅俊	植田正樹	傘木史仁	Christopher Smiddy	坂西千尋
青沼伸悟	上野知恵	檜山あずみ	栗原信重	阪本考司
青柳薫	上野芳弘	柏原稔	胡桃邦年	坂本英樹
青柳浩一郎	上野亮介	春日敏彦	胡桃澤伸一	櫻井美央
青山篤哉	上原慎一郎	春日嘉広	黒井秀彦	佐々木和彦
赤池拓美	上原剛	片瀬雅崇	黒田晋	佐々木桃子
赤澤直徳	牛丸仁志	片山寛和	桑島直昭	佐藤謙一郎
縣知弘	白井美保	勝家知子	小池一紀	佐藤誠子
赤羽剛志	内川恵理子	加藤市朗	小池恭平	佐藤壮峻
赤羽翼	内川潤季	加藤清美	小池健郎	佐藤由夏
赤羽又三郎	内川澄江	加藤邦武	小池由華	佐原真一
赤羽萌子	内川日出夫	加藤慎一	小泉綾香	澤口太介
秋山巖	内津政直	加藤直利	小出優子	澤田康平
上松一博	浦崎宏平	金井伸	小岩井一恵	塩野靖生
浅川千紘	漆戸勇貴	金井伸樹	神津公洋	塩野崎隆夫
朝倉一樹	江住和彦	金井良藏	小坂清人	塩原健
麻田仁郎	江原芳英	金子稔	越石暁	鹿川喜通
浅輪徹	遠藤公江	金田光弘	越達朗	品川豊
甘利善一	小穴正章	鎌田宣之	越原道廣	篠崎聖子
鮎沢光明	及川聖枝	上條亮	越秀寿	柴田續
新井隆司	大池秀樹	上條敦子	越博司	芝田正広
荒田政幸	大石佳苗	上條和徳	小嶋克巳	柴山仁
飯島恵子	大木秀子	上條恵子	後藤誠一郎	渋谷祥太
飯塚香代子	大久保ふみ枝	上條貴春	後藤未佳	嶋田徹也
飯濱祥司	大澤美雪	上條智久	小西陽子	島田奈緒
五十嵐圭太	大島千佳	上條光	小橋茂和	島田宏光
井口元成	太田佳代	上條ひで子	古林祐輝	清水弘治
池内政光	太田功三	上条洋	小林至	清水修二
池上篤	太田汐里	上條美咲	小林一洋	清水俊喜
池上路浩	太田晴香	上條靖大	小林今雄	清水萌美
池上安雄	太田義夫	上平貴明	小林一明	清水優花
池田伸吾	太田好男	上村冬子	小林慶吾	下坂周示
池田昌代	太田芳樹	神山涼一	小林健吾	白平奈緒子
池田康則	大月俊雄	柄澤知憲	小林貞幸	白井伸治
伊佐治裕子	大槻登美子	唐澤奈穂子	小林清二	白石立
石神真有子	大槻宏美	柄澤裕美	小林忠俊	白澤すえ子
石黒未久	大月雄志	唐澤陽子	小林達吉	白澤りか
石澤彰郎	大野慧悟	狩戸知善	小林弘幸	神保明浩
石田詩穂	大野晃永	河合広	小林浩之	菅之屋友美
石田英幸	大橋ちづる	川上克也	小林裕之	杉本久美子
石塚聡実	大日向悠	川上忠宏	小林真人	樺山直樹
和泉仁	大平早紀	川上哲朗	小林本直	杉山幹夫
板花賢治	大森美有	川上正彦	小林航	鈴木博史
市川尚文	大森裕司	川口晃	小松健司	鈴木祐太
市川博文	大和博	神澤志津	小松茂	鈴木良一
市川ユミ子	岡部俊也	神林純也	小松慎司	巢山和子
市原満	岡村康司	木川由理	小松誠司	諏訪孝治
井出政次	岡村直亮	北川貴史	小松浩	関澤実
井出杜史	岡村一	北澤敦志	小松三夫	関取秀樹
井出悠太	岡本祐	北澤淳	小松礼子	関政雄
伊藤明広	小川敏由	北條悟	五味健太郎	関崇彦
伊藤英二	尾川裕子	北野真之美	五味義弘	曾根原真
伊東笑子	冲綾音	北原阿紗美	小山聡	曾根原実
伊藤浩二	荻原幸彦	北原啓二	小山茂雄	園部文彦
伊藤忍	奥田卓	北原正子	小山次男	反目洋一
伊藤菜月	小口さなる	北平志江	小山靖	高木寿郎
伊藤信行	奥原清恵	北村文良	是永剛	高木麻衣子
伊東広宣	奥原秀一	北山広明	金敏博	高梨英樹
伊藤麻理子	奥原正文	吉川千広	近藤彩	高野敬吾
伊藤萌	小倉真侑	木次文訓	近藤潔	高野唯史
伊東康浩	長田智晴	木下麻美	近藤秀憲	高野英世
伊藤佳子	長田基佳	木下泰一	近藤浩	高野美由紀
稲葉憲一	小澤貴宏	桐沢明雄	近藤正彦	高野祐一
犬飼広昭	小澤岳弘	草間厚伸	今野泉	高橋明彦
井上健典	小澤泰彦	草間淳也	斉藤方彦	高橋健
今井清	小澤弥生	窪田達央	斉藤久美男	高橋孝平
今井翔	小澤ゆきえ	久保田淳	齋藤龍大	高橋智嗣
今泉聖子	小澤裕	久保田真未	斉藤敏男	高橋晴彦
今井巧	織田真理子	熊谷晃	斉藤浩伸	高橋博文
今井龍夫	小野真一	熊澤哲夫	齋藤陽一	高羽優
今尾春彦	小野美波	倉科奈津枝	齋藤善輝	高林栄治
今川祐太郎	小原直樹	倉島政人	坂井晃	高松丑郎

実施本部体制名簿

高山千穂  
高山広志  
高山裕輝  
高山佳範  
高山佳朗  
田川正樹  
滝澤修  
滝澤達也  
滝澤陽  
田草川勇介  
田口守久  
武井厚志  
武井和則  
武井俊明  
武井勇志  
竹内豊明  
竹内靖長  
武川裕  
竹腰隆  
武田英昭  
竹田雄一  
田尻勝博  
忠地幸博  
田近勉  
立澤恵一  
達家将之  
田堂誠  
田中治  
田中敬志  
田中啓介  
田中純  
田中潤  
田中順子  
田中史郎  
田中達也  
田中美咲  
田邊健史  
谷知巖  
田原謙治  
田淵千春  
玉川元氣  
檀ノ原智樹  
池信  
千代登  
千村広道  
茶原孝浩  
辻本雄汰  
津田拓也  
土屋浩昭  
土屋雄一  
筒井亜矢子  
筒井健介  
坪井武久  
出口栄也  
手島雅人  
手島学  
手塚暁  
手塚雄保  
寺澤明美  
寺島雅人  
出羽沢千曲  
土井梨菜  
徳武貞彦  
徳永剣  
床尾拓哉  
戸田朱音  
等々力真希  
等々力敬倫  
戸上学  
伴野光彦  
戸谷和俊  
豊原広幸  
豊森孝弘  
鳥居悠三  
中易彩  
仲上暉次郎  
中川浩

永喜多廣義  
中込雄一  
長崎梢  
長澤幸一  
中澤聡  
中沢倫明  
中沢道彦  
長澤孝  
中嶋亜希乃  
中島幸一  
中島航生  
中嶋岳大  
中宿恵司  
永瀬智宏  
永瀬幸道  
中曾根亨  
中田明穂  
永田真一  
中田史法  
永田雄治郎  
中野浩太郎  
中野文子  
中野宏康  
仲林啓  
中原和彦  
中原貴央  
永春彰信  
永春美香子  
中村和央  
中村邦彦  
中村武志  
中村正  
中村芳昭  
中村文哉  
中村直斗  
中村嘉光  
永元雄大  
永山友宏  
中山照基  
中山泰浩  
中雲康弘  
梨子田満  
奈良井拓郎  
奈良井千夏  
西川勉  
西沢彰  
西澤いづみ  
西澤志帆  
西澤みよ子  
西嶋秀雄  
西原誠一  
西村充貴  
野池傑  
野口仁美  
野崎隆一  
野沢明日香  
野澤悟  
野田早紀  
野村綾香  
ハービー牧子  
橋詰祐希  
長谷川健一  
長谷川奈菜  
長谷川雅倫  
長谷川真由美  
波多腰孝之  
波多腰秀美  
花岡龍男  
花村憲二  
羽根実咲  
巾崎史生  
濱宏樹  
林寛和  
林宏行  
羽山和秀  
羽山浩行

原薫  
原沢浩二  
原寿恵  
原正幸  
春宮充宏  
東川俊彦  
東良義文  
樋口公昭  
日詰究  
日向一夫  
美谷島和浩  
平井はるか  
平沢公彦  
平野明  
平林泉  
平林心優  
平林節生  
平林崇恵喜  
平林貴子  
平林達也  
平林英俊  
平林紀子  
平林竜一  
深尾章子  
深尾悠典  
深澤勝彦  
福澤哲弥  
福沢望  
福沢久雄  
福沢佳典  
藤井卓哉  
藤澤美和子  
藤森和行  
藤森茂晴  
藤森千穂  
藤森義一  
藤原史織  
二木昭彦  
二木幸恵  
船坂義明  
布野悠吉  
降旗晃徳  
降旗一俊  
降旗司  
降旗友紀  
古市真輝  
古川英樹  
古越勝司  
古澤宏章  
古畑満  
古幡由子  
古畑義隆  
逸見和行  
逸見玲子  
北條浩之  
外園雅祥  
保刈優美  
保科文乃  
保科哲朗  
細川隆  
堀克彦  
堀敏子  
堀洋一  
堀井里美  
堀井南風  
堀内昭英  
堀金孝志  
堀川伸二  
本田亜也子  
本道文彦  
前澤弘一  
前澤典子  
前島秀俊  
前角和勇  
榎石茂幸  
牧羽文武  
間島達哉

増田絵里香  
増田佳朗  
松井邦彦  
松枝輪太郎  
松川敦  
松倉洋幸  
松沢宏明  
松沢陸  
松下郁美  
松田佳子  
松林典泰  
松村正  
松本英仁  
松本潔  
松本清美  
的場正二  
丸山起人  
丸山克彦  
丸山丈晴  
丸山晴彦  
丸山まい  
丸山雅之  
丸山萌  
丸山遼  
三浦幸次郎  
三枝成葉  
三木誠道  
三沢真二  
三澤登  
三澤雅孝  
水内直善  
水澤和子  
水谷俊英  
南喜八郎  
南沢敦子  
三村圭司  
宮内知保  
宮岡正紀  
宮坂知可子  
宮坂正之  
宮坂玲那  
宮崎隆幸  
宮澤淳  
宮澤憲治  
宮澤峻輔  
宮澤俊吉  
宮下直人  
宮下春菜  
宮下博文  
宮下真梨子  
宮島由起  
宮原登  
宮原涉  
宮本聡太  
宮本直  
宮脇真帆  
宮脇優  
三代澤朋久  
村上涉  
三輪力  
向山繁幸  
向山武典  
宗廣克徳  
村田吉弘  
村山佳織  
村山秀幸  
日黒優  
毛受誠  
毛利文陽  
麴国人  
麴隆一  
望月敬弥  
本木康平  
本山聖一  
百瀬公明  
百瀬久美  
百瀬今朝和

百瀬功三  
百瀬徹  
百瀬朋章  
百瀬規子  
百瀬博明  
百瀬浩行  
百瀬信  
百瀬誠  
百瀬将明  
百瀬光宏  
百瀬裕正  
百瀬義男  
森一雄  
森下陽平  
森田邦雄  
森谷妙子  
森本恭透  
森本千嘉  
守屋千秋  
師岡幸人  
八木瑞希  
矢口泰秀  
矢沢哲也  
屋敷昌司  
谷頭正  
柳澤昌代  
山内敦子  
山岸希  
山岸悠  
山口勇  
山口栄作  
山口恭子  
山口健太  
山口喬之  
山口知裕  
山口紀子  
山口正裕  
山崎明  
山崎徳男  
山崎典英  
山崎浩幸  
山崎若菜  
山近龍浩  
山戸香織  
山内亮  
山邊裕嗣  
山本あゆみ  
山本絵理  
山本晋司  
山本隼人  
山本喜幸  
湯浅明  
湯澤邦孔  
湯本雅広  
横沢一彦  
横山達  
横山一美  
吉岡真司  
由上綾華  
芳沢真一  
吉沢しおり  
吉田恵理  
吉田望花  
吉野彩奈  
吉原敏郎  
米久保岳志  
米窪裕治  
米倉逸生  
米倉剛  
米山雄樹  
若狭利行  
鷺澤寛之  
和田秀樹  
渡邊修  
渡辺敬介  
渡辺三由希  
渡邊幸浩  
(50音順)